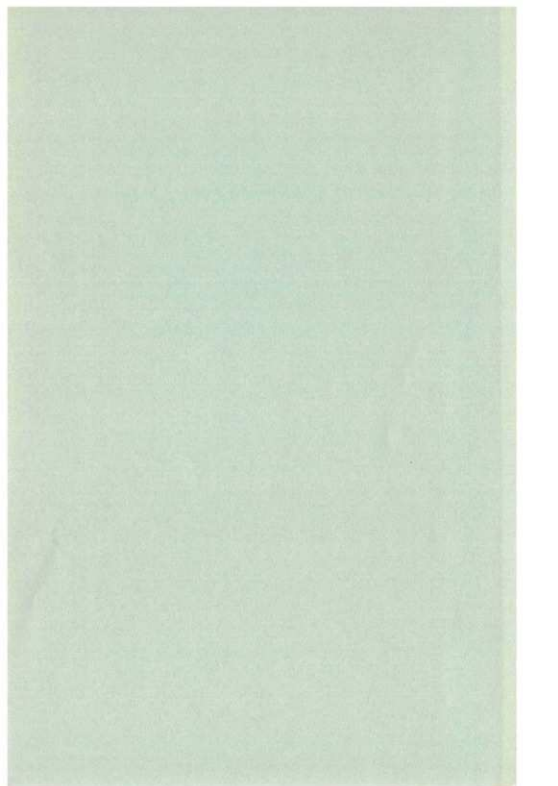
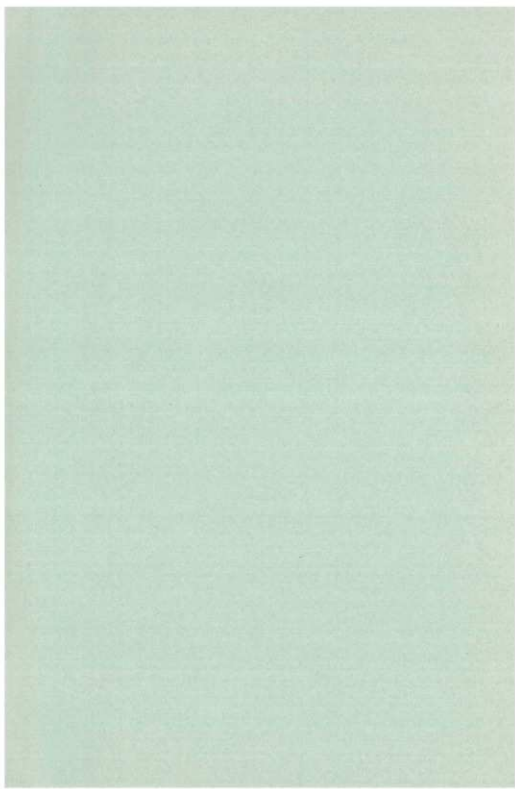


掛川市史年表







掛川市史年表

はじめに

掛川市域の歴史の流れを一望するとき、どのような変遷を経て今日に至っているものであろうか。このような展望を一覧するのは、なんといっても年表という形が一番であろう。そして、年表は一番短い形で読者に史実を語りかけてくれる。

今回『掛川市史』上・中・下三巻の通史を刊行するに当たって、各巻に該当する史実をとりまとめて『掛川市史年表』として編集した。参考資料としては『掛川市史』上・中・下巻、『掛川市誌』をはじめ、『年表日本歴史』筑摩書房、『近代日本総合年表』岩波書店、『武者の中世』菊川資料センター、「広報かけがわ」掛川市、「静岡民友新聞」、「静岡新聞」等を主軸に編集した。年表はその性質上、年月日が明らかなものから、歴史の流れから多分この辺であらうという不確かなものもある。この度上記の資料を基に、極力確かな史実を選択したつもりであるが、まだ、間違いもあらうかと思われる。諸氏のご指摘、ご教示を頂ければ幸いである。

平成9年8月25日

掛川市教育委員会 掛川市史編纂室

西暦	年 号	事 項
		旧石器時代（先土器時代）
BC15		縄文時代 堂山遺跡（原里）などで有舌尖頭器が使われる。
6500		萩ノ段（原里）・向畑（八坂）遺跡などに集落が営まれる。
		3,500年頃 中東文明おこる。
3000		吉岡原など各地に集落が展開する（中原遺跡で住居跡発見）。
2000		上ノ段遺跡（原里）に歴代集落が営まれる。
		1,500年頃 中国青銅器使用はじまる。
500		弥生時代 北九州で稲作が始まる。
300		掛川市域に稲作文化が伝わる。
		202年中国前漢おこる。
200		原川遺跡（原川）に集落が営まれる（独立柱建物跡、土器棺墓発見）。
		山下遺跡（各和）に方形周溝墓群が営まれる。
100		このころ倭（日本）は百余りの国から成る（『前漢書』地理志）。
A057		北九州の倭の奴国が後漢に使者を送り、印綬を受ける（『後漢書』東夷伝）。
		27年 ローマ帝政時代にはいる。
200		このころ長谷に銅鐸が埋納される。
		女高遺跡（高田）、領家遺跡（領家）、厩原遺跡（満水）、安養寺遺跡（安養寺）など市内各所に集落が展開する。
		原新田遺跡（上西郷）の方形周溝墓に鉄製短剣が副葬される。
239		邪馬台国女王卑弥呼、魏の国に使者を派遣する（『魏志倭人伝』）。
300		古墳時代 近畿地方以西に古墳（前方後円墳）が築かれる。
		このころ高田遺跡（高田）、女高遺跡（高田）、厩原遺跡（満水）、六ノ坪遺跡（秋葉路）など丘陵上に集落が展開する。
		大和朝廷の政治的影響力が全国に浸透し始める。
369		日本軍が朝鮮半島南端（任那）に支配を及ぼす（『日本書紀』）。
370		このころ 前坪3号墳（長谷）が築造される。

西暦	年 号	事 項
391		日本軍が朝鮮へ出兵して百済・新羅を服属させる （『好太王碑』）。
400		このころ 各和金塚古墳・瓢箪古墳・浅間神社3号墳などが 築造される。
413		この年よりしばしば倭王が、中国の南朝に使者を送る （倭王の朝貢）。
430		このころ 磐田山古墳（伝応神天皇陵）が築かれる。
478		倭王武（雄略天皇）が使者を宋に送り上表する（『宗 書』夷蛮伝）。
500		このころ 細谷（高代山古墳群）や下垂木（赤岡古墳群）など 市内各地に小型古墳の造営が広がる。
538		仏教公伝
570		このころ 宇洞ヶ谷横穴、堀ノ内13号墳、山麓山横穴が造られ る。 上西郷（平塚古墳）、本郷（長福寺古墳）に横穴式石室 の古墳が造られ始める。
600		このころ 古墳群や横穴群が盛んに造られる（群集墳の盛 行）。本郷、曾我、下垂木、上垂木、南郷、西山口、東 山口の各地に横穴群が多数造られる。 原田（平古墳群）、上垂木（天段古墳）、曾我（居村古 墳群）など横穴群分布域を外れて横穴式石室の古墳が 普及する。
604		4. 3 聖徳太子、十七条の憲法を定める。
607		7. 3 小野妹子等を隋に派遣し、国書をささげる（『隋書』倭 国伝）。
630		8. 5 遣唐使を派遣。
645	大化元	6. 13 乙巳の変が起こる（大化の改新）。
652	白雉3	1. 一 班田収授の法により収授完了。
663	天智2	8. 27 日本軍は白村江の戦に大敗して、朝鮮半島から撤退。
670	天智9	2. 一 はじめて戸籍を作る（庚午戸籍）。
672	天武元	6. 24 壬申の乱
701	大宝元	8. 3 大宝律令を定める。 8. 21 遠江国等到大風あり。
706	慶雲3	9. 15 田租の法を改定。1町22束を15束とす（実質不変）。
709	和銅2	2. 9 遠江国長田郡を分けて、長上・長下の2郡とする。 3. 5 遠江国等の兵が蝦夷征討のため陸奥・越後へ従軍する

西暦	年 号	事 項
710	和銅 3	2.10 奈良に都を移す（平城京）。 4.29 遠江国等飢饉で救済をうける。
712	和銅 5	1.28 太安万侶「古事記」をつくる。
713	和銅 6	5.2 諸国に「風土記」をつくらせる。
715	霊龜元	5.25 遠江国に大地震。
718	養老 2	この年 養老律令が完成する。
720	養老 4	5.21 舎人親王等「日本書紀」をつくる。 このころ唐文化の最盛期。
722	養老 6	2.16 佐益郡 8 郷を削いて山名郡を置く。
723	養老 7	4.17 三世一身の法を定める。このころ、天平文化栄える。
726	神龜 3	12.24 遠江国 5 郡に水害。
730	天平 2	このころ 行基各地に49院を建てる。
733	天平 5	3.16 遠江国、飢饉で救済をうける。
738	天平10	この年 遠江国佐野郡敷事丈部塩麻呂らが賣省符使を勤める。
741	天平13	2.14 諸国に国分寺・尼寺建立の詔。遠江国は見付に建立。
743	天平15	5.27 磐田永世私有令が出る。
755	天平勝宝7	2.6 筑紫に遣わされる、遠江国等10か国の防人らの歌が進上される。
762	天平宝字6	3.一 遠江国、干害による飢饉で救済をうける。
785	延暦 4	10.10 遠江国、大風による飢饉で救済をうける。
790	延暦 9	4.29 遠江国、飢饉で救済をうける。
791	延暦10	10.25 東海道・東山道に征騎 3 万4500余本を作らせる。
792	延暦11	6.14 諸国に健児を置く（遠江国60人）。
794	延暦13	10.22 桓武天皇、京都に都を移す（平安京）。
797	延暦16	11.5 板上田村麻呂、征夷大將軍に任命される。
800	延暦19	このころ 六ノ坪遺跡（秋葉路）に官衙風の建物群が営まれ始める。
802	延暦21	7.10 板上田村麻呂、蝦夷鎮圧して帰京する。
806	大同元	この年 最澄、天台宗開立を許可される。
816	弘仁 7	6.19 空海、高野山に道場を許され真言宗を広める。
820	弘仁11	2.14 遠江国・駿河国に配した新羅人700人が反乱、相模等 8 国これを追討。
823	弘仁14	1.19 空海に東寺を下賜。 この年 遠江国、干害悪疫流行する。
833	天長10	このころ 莊園広まる。
838	承和 5	7～9 月 遠江国等に米華が降る（灰ょうのもの）。

西暦	年 号	事 項
850	嘉祥 3	7.11 八坂事任社（八幡宮）従五位下を賜わる。
857	天安元	2.19 藤原良房太政大臣に、同 2 年人臣初の摂政となる。
864	貞観 6	5.25 富士山噴火 7.17 淳岩本栖湖へ。
873	貞観15	この年 清和天皇、皇子・皇女に源の姓を与える。
894	寛平 6	9.30 菅原道真の意見によって遣唐使を中止する。
900	昌泰 3	このころ、梅橋北遺跡（徳泉）に有力な集落が栄える。
902	延喜 2	3.13 初めて荘園整理の令を出す。
905	延喜 5	4.15 紀貫之等により古今和歌集をつくる。 8.一 藤原時平等に延喜式を選ばせる。 このころ 大の浦（磐田）しだいに乾涸。
925	延長 3	12.14 諸国に風土記を提出させる。 このころ 国風文化おこる。
939	天慶 2	12.一 平将門、関東に乱を起こす。
940	天慶 3	8.15 平将門等19人の首を十九首塚に葬る（伝説）。
944	天慶 7	6.2 佐野郡長福寺の鐘（大峰山蔵）でできる。
958	天徳 2	このころ 国司の濫任がさかん。荘園が権力者へ集中。
977	貞元 2	11.20 故藤原兼道を遠江国に封じ忠義公と諡する。
979	天元 2	この年 宋が中国を統一する。
998	長徳 4	このころ 清少納言「枕草子」を著す。
1007	寛弘 4	このころ 紫式部「源氏物語」を著す。
1016	長和 5	1.29 藤原道長、摂政となり藤原氏の全盛時代を迎える。
1050	永承 5	1.20 伊勢神宮禰宜入京、祭主大中人永輔の非法を訴える。
1051	永承 6	この年 前九年の役おこる。
1063	康平 6	この年 源義家が横地太郎家長と佐夜中山で親子の対面。
1070	延久 2	この年 遠江国佐野郡に山口御厨を設置する。
1082	永保 2	10.17 清原則房を遠江国小国社の神主とする。
1083	永保 3	この年 後三年の役はじまる。
1086	応徳 3	11.26 白河上皇、院政をはじめる。
1094	嘉保元	このころ 小高荘が開拓される。
1114	永久 2	2.3 遠江国等に盗賊が横行する。
1121	保安 2	この年 遠江国佐野郡に小高御厨を設置する。
1156	保元元	7.一 保元の乱おこる、横地太郎長重参戦。
1158	保元 3	8.一 平重盛が遠江守となる。
1159	平治元	12.9 平治の乱おこる。
1167	仁安 2	2.11 平清盛、太政大臣となり平氏全盛時代を迎える。
1175	安元元	春 法然、専修念仏を唱え浄土宗をひらく。

西暦	年 号	事 項
1175	安元元	このころ 安養寺遺跡(安養寺)に寺院営まれる。
1180	治承4	8.17 源頼朝、伊豆国で挙兵。
1182	寿永元	5.16 源頼朝、懸川に住まう藤原広綱を右筆にとりたてる。
1184	寿永3	1.14 内田三郎家吉、栗津の戦いで巴御前に討たれる。
1185	文治元	3.14 壇ノ浦の戦いで平氏滅亡(一ノ谷の戦いに横地太郎長重参戦)。 11.29 源頼朝、諸国に守護・地頭を置き、東海道諸駅に伝馬を置く。
1186	文治2	8.一 西行、佐夜中山で一首を残す。「新古今和歌集」に(年たけてまたこゆべしと思いきや命なりけり佐夜の中山)。
1190	建久元	10.13 源頼朝上洛とその帰路懸川に泊まる(横地太郎長重後陣を務める)。
1191	建久2	7.一 栄西、臨済宗を伝える。
1192	建久3	7.12 源頼朝征夷大將軍となり鎌倉幕府を開く。武家政治始まる。 このころ 山口御厨、小高御厨の名が神風抄にみえる。
1193	建久4	5.28 曾我十郎五郎兄弟が工藤祐経を富士の裾野に討つ。原清益負傷。
1200	正治2	この年 北条時政、遠江守となる。
1210	承元4	10.13 鎌倉幕府諸国の守護地頭に牧場の興行を命ずる。
1221	承久3	7.10 承久の乱に連座した中納言藤原宗行が菊川宿で漢詩を残す「昔南陽縣菊水汲下流而延齡 今東海道菊川宿西岸而失命」。
1222	貞応元	6.13 承久の乱で真言宗、天台宗は後鳥羽上皇方に付き権益減少する。 この年 応声教院、天台宗より浄土宗に改宗する。
1232	貞永元	8.10 北条泰時、御成敗式目五十一條を制定、施行。
1234	文暦元	6.15 真言宗宝塔三昧院領に佐野郡西郷荘の名、官宣旨に記録あり。
1238	嘉禎4	2.5 四代將軍藤原頼経、上洛の途懸川御所原に泊まる。宿所設営奉行横地太郎長直。 このころ 領家に横地方の所領があった。
1252	建長4	3.26 宗尊親王六代將軍となり鎌倉下向の途中懸川で休憩、菊川に宿泊。
1265	文永2	2.6 原田莊が宝金剛院領、上西郷が運遊院領、曾我莊が長講堂領で白河、鳥羽、後白河三代の起請地とある。

西暦	年 号	事 項
1266	文永 3	7. 4 「吾妻鏡」の記述が終わる。
1274	文永11	10. 一 元軍、九州に来襲（文永の役）。1283年弘安 6 年再襲（弘安の役）。
1278	弘安元	1. 一 伝、一条三位良政（上杉憲藤）、佐夜中山怪鳥退治（功により相良荘大江拝領平田寺建立）。 （1284年春 平田禅寺竜峰宏雲は上杉憲藤の子月輪童子を弟子にする）。
1286	弘安 9	3. 2 幕府、遠江国守護、地頭に悪党鎮圧を命ずる。
1294	永仁 2	このころ 冷泉為相、懸川で「これもこの所のならひと門毎に 葛てふ布を懸川のさと」の一首を残す。
1295	永仁 3	9. 9 幕府、東寺（真言宗）最勝光院領原田荘細谷郷、本郷にある領家随心院に、地頭原小三郎のことにつき最勝光院の主張を認める。
1297	永仁 5	3. 6 幕府は御家人の救済で初めて徳政令を出す。
1317	文保元	4. 9 持明院統・大覚寺統両統交替で皇位に。1392年南北朝合一。
1327	嘉暦 2	10.28 小高御厨所領米売買で仲介料領収書を西郷住人兵部が出す。
1330	元徳 2	この年 藤原教定、西郷荘の相伝を作成。このころ名越高家は大池荘、遠江守護大仏貞直は各和郷、下西郷、中原弥次郎は原田荘を所有する。
1331	元徳 3	7.12 日野俊基倒幕失敗で逮捕、護送途中菊川宿で一首を残す「古もかかるためしを菊川のおなじ流れに身をやし ずめん」。
	元弘元	12.15 東寺領原田荘年貢争い雑掌直論と地頭原忠益の間で和解（19年間の争い）。
1333	元弘 3	4～5 月 足利高氏、横地長国等六波羅探題を攻撃、新田義貞等鎌倉を攻撃。 5.18 鎌倉幕府滅亡。 7.19 北条（名越）高家の遺領大池荘を飛騨守護岩松経家に与え地頭職とする。高氏の弟直義には各和郷、下西郷が与えられる（大仏貞直の遺領）。 8. 6 足利直義戦功により後醍醐天皇より遠江国を与えられる（高氏は武蔵守尊氏に）。
1334	建武元	この年 建武の新政行われる。
1335	建武 2	7.22 中先代の乱、幕府復活願う北条時行、足利直義を追っ

西暦	年 号	事 項
1335	建武 2	て佐夜中山に布陣。 8. 2 足利尊氏、後醍醐天皇に征夷大將軍任命奏上を無視され西上の北条時行軍と11日懸川、12日佐夜中山で戦い勝利（横地長則戦功あり）。 9. 15 伊勢神宮、小高下御厨上分米口入神主職に権禰宣渡会盛行を補任する。 9. 24 足利尊氏、北条時行に付いた石野弥六兵衛入道の跡地を富士浅間宮に寄進。 9. 27 足利尊氏、戦功のあった富樫高家に原田莊北条側の遺領を与える。 10. 23 後醍醐天皇方難訴決断所、細谷郷を東寺最勝光院に安堵する。
1336	建武 3	12. 14 天皇方敗走する新田義貞軍、佐夜中山、懸川を通過。 3. 2 足利尊氏、博多で菊池武敏と戦い勝利、横地・勝間田氏戦功あり（道真分霊拝受）。 12. 21 南朝・北朝に分裂、後醍醐天皇吉野へ。 このころ 宗良親王、遠江国横地等で合戦、横地・内田・勝間田等武家方勝利。 この年 足利尊氏、建武式目を制定する。
1337	建武 4	8. 11 中御門冬定、藤原道長の子頼宗以来の小高御厨を子の中御門宗重に譲る。 8. 14 遠江守護今川範国、見付端城を居所に活躍。
1338	暦応 元	1. 10 南朝北畠顯家軍、懸川等民家寺院に乱入掠奪（長福寺の鐘も？）、今川範国追撃。 宗良親王北畠軍に随行、9月白羽から井伊城に入る。 8. 11 足利尊氏、征夷大將軍となり室町幕府を開く。
1339	暦応 2	7. 26 高師直の弟、師泰は鴨江城（浜松）を陥落させる。 10. 一 小高御厨が伊勢神宮神領であると記録あり。
1340	暦応 3	8. 24 遠江守護仁木義長、武藏守高師直等太平城を陥落、宗良親王行方不明。
1342	康永 元	4. 15 足利直義、高師直に真如寺（場所不明）建立させる。
1343	康永 2	12. 8 祇園社の願証は山口御厨の訴訟を取り次ぐ。 この年 曾我莊、預所職が大覚寺（古義真言宗大本山で京都嵯峨、南朝拠点）から某に給与される。
1346	貞和 2	8. 17 足利直義、原田莊の田、屋敷を地頭職原光高（幼名文珠）に安堵。

西暦	年 号	事 項
1346	貞和 2	9.27 足利直義、雑掌定祐の訴えにより、最勝光院領原田莊細谷郷一分地頭原熊丸に未納年貢の上納を命ずる。 10.7 足利直義、同細谷郷一分地頭金子忠繼に未納年貢の上納を命ずる。
1349	貞和 5	8.12 足利直義、高師直と対立し京中騒然、勝間田助清は三条院の門守る。
1351	観応 2	2.26 高師直、足利直義の指図で、上杉能憲に摂津武庫川を殺害される。 11.26 足利尊氏、足利直義追討のため懸川に到着、結城朝常に鎌倉攻撃を命ず。横地長則・勝間田入道軍参戦。
1352	文和元	2.15 足利尊氏、今川範国の子範氏を遠江守護に任命する。
1355	文和 4	9.11 今川範氏、浅間神社造営で徳政令を出す。
1358	延文 3	12.8 足利尊氏死去、義詮室町幕府二代將軍となる。
1361	康安元	10.21 周防太夫実藏は、軍費に細谷郷領家職預かりの半分を東寺に納める。
1362	貞治元	10.19 熊野山新宮造営料、垂木郷25石8斗9升4合、家代郷19石7斗7升、富部郷111石2斗1升1合、小高郷22石3斗1升3合。
1363	貞治 2	2.4 東寺領原田莊細谷郷地頭代大森師益年貢毎年（半済）14貫550文で請け負う。大森師益の得分7石1斗9升と2貫110文。
1364	貞治 3	10.9 細谷郷地頭原出雲入道寺用米未納につき東寺は今川範国に訴える。
1366	貞治 5	6.1 足利義詮、小高御厨を自休庵に安堵する。
1367	貞治 6	11.25 足利義詮病氣引退、三代將軍義満幼少で細川頼之管領として補佐。 内田莊下郷の内田氏、足利直冬に通じて没落、遠江国より石見国へ。
1370	応安 3	この年 横地左京亮、室町幕府番衆（親衛隊）となる、世襲。
1373	応安 6	閏10.10 東寺淨琳を原田莊に派遣し年貢処理、先年死亡の定祐後家生活困窮。
1374	応安 7	5.2 今川範国、豊原（将監）信秋に原田莊領家職半済年間50貫文で請け取る。契約を地頭側飯尾十郎兵衛入道と結ぶ。
1376	永和 2	8.4 足利義満、今川貞世に南朝討伐応援に遠江・駿河の御家人を九州に遣わす。

西暦	年 号	事 項
1379	康暦元	このころ 東寺最勝光院年貢が雑掌管理より遠江守護に依頼、代官管理に移行。
1381	永徳元	7.11 幕府、遠江守護今川範国に命じ東寺御影堂造営遠江国棟別銭を徴収（この年幕府番衆大將は勝間田次郎左衛門尉）。
1382	永徳2	2.27 東寺最勝光院、義室大僧都に原田荘の興行（経営と新開発）をさせる。 7.13 幕府、今川範国に東寺原田荘へ伊勢神宮役夫工米の催促停止伝える。
1386	至徳3	3.8 東寺最勝光院、昨年原田荘大水害年貢免除願を拒否、本尊須弥壇造営にあてる。
1388	嘉慶2	9.16 足利義満、今川泰範をたずね富士山を観る。
1389	康応元	9.18 原田荘地頭代、領家年貢半済分受取者に原民部丞跡の御所道場、真統庵、観音寺とその同人、原遠江守、向笠肥前守、飯尾楊梅入道、新輪寺、原三郎左衛門分の守護寺、原幡鎌方、原式部丞（遠江守護今川仲秋も検討加える）。
1390	明徳元	10.5 東寺最勝光院、原田荘細谷郷所務代官を祖業禪師から同国観音寺少納言坊に変える。
1395	応永2	8.19 東寺領細谷郷代官道祐、領家職が南禅寺瑞雲庵に差し押さえられたと最勝光院公文高井祐尊に報告（11月細谷郷半済分南禅寺瑞雲庵差押分を東寺八幡宮に返してけり）。 11.14 今川貞世（了俊）九州探題職解任、駿河守護となり京都より下向。
1396	応永3	6.6 幕府、遠江守護今川仲秋に原田荘領家職半済分を真言宗醍醐寺金剛王院に交付すると伝える（醍醐寺は真言宗醍醐派の総本山）。
1399	応永6	9.18 遠江国観音寺伊勢氏、原田荘細谷郷代官職の毎年20貫文年貢処理を京四条万里小路某保証。
1400	応永7	1.11 今川泰範遠江守護となる。 1.18 足利義満、上杉憲定に足利氏満と結託した今川貞世を討たす。貞世降伏、山名の堀越に蟄居（今川泰範遠江守護に）。 3.一 曹洞宗正法寺開かれる。古くは真言宗正眼院と号す。
1405	応永12	12.14 山科教言、領家西郷より年貢5貫文を受け取る（山科

西暦	年 号	事 項
		家、天皇家と親しい関係)。
1405	応永12	12.20 教官、西郷より残りの年貢(半済分14貫文と絹2疋)受け取る。
1407	応永14	11.15 佐野郡本所の薬師堂に某氏鰐口を奉納。大尾山願光寺に鰐口奉納。
1409	応永16	2.一 小野忠綱、檀那の内田莊若一王子社に大般若波羅密多経奉納(藤原教親も)。
		9.26 今川範範死亡、この後遠江守護は斯波義重となる。
1410	応永17	11.18 東寺最勝光院公文高井祐尊、細谷郷年貢9貫文受取。
1411	応永18	7.24 最勝光院細谷郷代官職に斯波家臣堀江入道をあてる。 この年 小高郷に京都鹿王院領があった。 森町大洞院を加仲天間が開く、弟子が曹洞宗の教線を拡大する。
1412	応永19	8.9 幕府奉行、遠江守護代甲斐祐徳に東寺細谷郷への大普金段銭の催促やめさす。
1413	応永20	1.19 今川範泰、天野景政に富部郷を預ける。 6.8 東寺最勝光院は原田莊新代官に斯波家臣織田主計浄祐をあて年貢20貫文責任もたす。
1414	応永21	このころ 相良莊真言宗大興寺は相良城主の援助で曹洞宗に改宗。
1416	応永23	10.29 幕府、今川範政に足利持氏を救援させる。
1419	応永26	この年 小高御厨事任本宮に鰐口が奉納される。
1420	応永27	7.一 今川貞世(了俊)山名郡堀越の海蔵寺で死亡(96歳)。
1423	応永30	8.11 幕府、今川範政に足利持氏の追討を命ずる(今川範政永享4年將軍と引見、5年没す)。
1432	永享4	9.17 將軍義教、富士遊覧の途次懸川に到着、佐夜中山、菊川で歌を詠む。遠江守護は斯波義淳。
1435	永享7	7.4 最勝光院公文賢増、細谷郷年貢京進19貫文を条件に同莊金剛王院代官職をやめ、同郷観喜寺慶朗藏王禅師を補任。
1436	永享8	4.23 金剛院房仲、原田莊細谷郷代官永源寺慶朗と2月代官に推挙した小河入道のことを東寺に伝える。
1437	永享9	7.一 遠江国大通寺大輝靈耀、原田莊寺田郷に本尊観世音菩薩の円通院を開き加仲天間を勧請開山とする。
1439	永享11	1.一 小笠原正行、河村莊堀之内(菊川)に配され堀内を名乗り、子行重堀之内城主となる。

西暦	年 号	事 項
1440	永享12	4. 9 東寺最勝光院、今川氏侵略阻止のため遠江守護甲斐常治に黒太刀を贈る。 12.24 原田莊細谷郷地頭細田氏（斯波氏家臣）となる。 この年 最福寺開かれる（寺記、元円通院二世を開山とし大洞院末となる）。 同秋 法泉寺開かれる（開山、春屋宗能和尚）。
1441	嘉吉元	5. 一 江戸城開祖太田道灌上洛、往復東海道を通る。 6.24 將軍足利義教、赤松満祐に勝殺される。
1443	嘉吉 3	9.23 群賊2～300人内裏焼打ち、在京の遠江守護斯波義郷の子義健、横地勝間田の番衆、駿河守護今川氏は幕府、皇居を警護。
1449	宝徳元	この年 勝間田十郎政次、大珍成全を招き萩間大興寺末寺曹洞宗長興寺を開基。
1452	享徳元	3. 一 松堂高盛、円通院より勉学のため下野足利学校へ。 6.12 最勝光院、細谷郷代官弥阿弥没後、甲斐家臣高木重秀に年貢20貫文で請けさす。
1454	享徳 3	9. 2 駿河守護今川範忠、遠江守護斯波氏や守護代甲斐氏を無視し笠原莊高松社の諸公事免除（東部侵略）。
1455	康正元	この年 榛原郡真言宗石雲院、勝間田城主に招かれた崇芝性岱により曹洞宗に改宗、勢力を盛り返す。
1456	康正 2	この年 永源寺開かれる、天文7年今川道空伊予守を開基とする。 蒲御厨百姓土倉襲う。
1457	康正 3	6. 5 遠江守護代甲斐常治、遠江国産蕎麦を奈良興福寺経覚に贈る。
	長禄元	12. 6 山科家へ家領西郷より年貢14貫文、絹2疋、かも栗2袋届く。
1458	長禄 2	4. 一 松堂高盛、下野足利学校での勉学終わり、原田莊円通院に帰る。
1460	寛正元	4. 2 幕府、遠江守護斯波氏に原田莊を奪われ不満の原遠江入道を討つため守護代甲斐常治への援軍を蒲御厨の武士に要請。 8. 2 幕府、東海道の諸関を廃止。
1461	寛正 2	3.20 遠江守護斯波義敏、古河公方足利成氏討伐命令に振き甲斐常治を攻め幕府より追放、遠江守護に決川義廉を命ず。
1464	寛正 5	10. 9 幕府、真言宗醍醐寺三宝院領、原田莊代官職原宮内少

西暦	年 号	事 項
		輔に所務執行命ず。年貢未納者に付き甲斐修理亮に究明さす。
1465	寛正 6	9.29 観音寺持家房教清、原田莊細谷郷本家代官職の補任を東寺に求める。
1466	文正元	7.19 最勝光院、細谷郷年貢長期滞納で納入促進を代官乗高に指示。
1467	応仁元	5.26 応仁の乱おこる(東軍細川勝元・西軍山名宗全)。 7.一 東軍今川(堀越)貞延軍と西軍横地軍が佐夜中山を中心に合戦。今川貞延、破れて池下鞍骨の池で自害(没年諸説あり)(海老名等に多数五輪塔あり)。
1470	文明 2	この年 松堂高盛原田莊円通院で江湖会を開き禅徒数10人に碧岩録を講義。
1471	文明 3	7.一 長松院開かれる。開山石宙永珊、開基河合宗忠。
1472	文明 4	1.28 幕府奉行入飯尾為信、山科家領西郷の地頭代西郷八郎に応仁元年以来差押えの年貢納入を命令する。
1473	文明 5	11.24 足利義政、將軍領慇川莊代官職を今川義忠に命ず。 12.19 足利義尚將軍となる。 このころ 鶴見氏の屋敷が慇川中西にあった。
1474	文明 6	閏5.15 斯波義敏、義廉と越前朝倉氏攻め。義廉、家臣雑賀吉長近衛日秀を招き日蓮宗満勝寺を開基。
1475	文明 7	2.24 斯波氏家臣甲斐八郎、遠江守護代となり今川氏侵略に備え遠江へ赴く。 5.16 幕府、遠江國小高郷を京都鹿王院へ安堵する。 7.23 駿河守護今川義忠、勝間田城と狩野館を攻め横地鶴寿、勝間田修理亮戦死。
1476	文明 8	3.一 今川義忠、塩買坂で討死。嫡子竜王丸6歳(氏親)、未亡人北川殿へ兄北条早雲が助力。
1477	文明 9	2.7 斯波氏家臣甲斐敏光、遠江守護代となり赴任。
1479	文明11	閏9.12 遠江國治安悪化、円通院に盜賊法衣盜難。
1485	文明17	この年 永江院開かれる。開山以異長祐、開基松浦兵庫助。 文明18年7.26 太田道灌没。
1487	長享元	10.20 今川氏親印判状に黒印使用(武家印判の初見)。
1494	明応 3	2.一 天然寺開かれる、秀譽上人開創。 2.一 北条早雲遠江に侵入、長福寺・円通院兵火にかかる。
1496	明応 5	9.10 河合宗忠、反今川勢により松葉城で倒れる。
1497	明応 6	11.13 松浦兵庫助、反今川勢により里在家で自刃す。

西暦	年 号	事 項
1498	明応 7	この年 災害多く大地震、暴風雨で浜名湖荒井崎切れ外海と通じる。
1501	文亀元	2. 一 常現寺開かれる。開山覚雄宗鑑。
1504	永正元	9. 一 今川氏親、北条早雲支援で武蔵国に出陣、上杉顯定を破る。
1505	永正 2	11. 11 松堂高盛没す (75歳)。 この年 駿河守護今川氏親、三河に吉田城を築く。
1508	永正 5	このころ 朝比奈泰熙、懸川古城を築く (石野家文書永正 2 年諸説あり)。
1510	永正 7	9. 一 慶雲寺開かれる、開山周孝和尚、開基伊達縫殿之助。
1512	永正 9	4. 2 今川氏親の將朝比奈泰熙、引馬城に拠り尾張守護斯波義連を攻略。 12. 一 朝比奈泰熙没す、永正10年子泰能襲戦。
1513	永正10	3. 一 朝比奈泰以、大河内貞綱を遠江国三岳城に攻略。 12. 10 乗安寺開かれる、開山越翁和尚、開基懸川城主朝比奈備中守。 この年 懸川城築城、朝比奈泰能古城より移る。
1515	永正12	この年 懸川城中に八幡宮創建。
1517	永正14	8. 19 今川氏親、引馬城に三河斯波、大河内氏を攻略、遠江全城を支配。
1518	永正15	この年 朝比奈泰以没す。永正16年北条早雲、莚山で没す (88歳)。
1522	大永 2	5. 一 連歌師宗長、懸川城に滞在。 この年 懸川城の霧吹井戸を作る。
1525	大永 5	この年 今川氏親、遠江国で検地を行う。
1526	大永 6	4. 14 今川氏親、家法を定める。6. 23 今川氏親没す (54歳)、氏輝襲戦。
1532	天文元	2. 3 世楽院開かれる。開山心源和尚、開基松浦兵庫助。
1535	天文 4	3. 一 春林院開かれる。開山太陽一鶴、開基原左衛門尉頼郷
1536	天文 5	3. 17 今川氏輝没す (24歳)。弟義元19歳で襲戦。10. 15 江尻商人宿に商売を安堵。
1537	天文 6	2. 10 今川義元、武田信虎の女を娶る。 6. 9 今川義元、長松院に判物を贈る。
1543	天文12	8. 25 ポルトガル船種子島に漂着、鉄砲を伝える。
1545	天文14	8. 16 今川義元、駿河国で北条氏康と戦う。武田晴信、義元を救援。

西暦	年 号	事 項
1548	天文17	この年 今川義元、遠江国の検地、以降20、22年、弘治2、3年実施。
1549	天文18	11.27 松平竹千代（家康）、今川氏の人質として駿河に赴く。
1557	弘治3	8.一 朝比奈泰能没す、奉朝襲撃。
1559	永禄2	3.18 今川氏真、駿河、遠江、三河諸国宿駅に伝馬1匹を出させる。
1560	永禄3	5.19 今川義元（42歳）、桶狭間で織田信長に討たれる。
1562	永禄5	3.2 井伊直親、東下の途次十九首で殺される。
1563	永禄6	1.一 武田信虎、その子武田信玄に逐われ懸川円満寺による
1568	永禄11	12.15 武田信玄、駿河に侵入、今川氏真を追う。氏真、懸川城に逃れる。 12.27 徳川家康、懸川城を攻め始める。
1569	永禄12	1.一 各和城落城、久野氏等の攻撃で各和氏滅亡。 3.8 徳川家康、懸川城の今川氏真と和睦を結ぶ。 5.17 今川氏真、懸川城を徳川家康に明け渡す。今川氏真、朝比奈泰朝等と小田原に転退する。 5.22 徳川家康、石川日向守家成に懸川城を守らす。
1570	元亀元	6.一 徳川家康、浜松城を築き岡崎城より移る。
1573	元亀4 天正元	3.一 原頼延、石川家成軍の攻撃に破れ莒州に逃れる。 4.12 武田信玄、信濃の駒場で没す。 7.18 織田信長、室町幕府を滅ぼす。
1574	天正2	5.28 武田勝頼、高天神城を攻める。6.17 高天神城落城。
1575	天正3	8.24 徳川家康、諏訪原城を攻略、落城する。
1576	天正4	2.23 織田信長安土城築く。 この年 徳川家康、高天神城の対の城として横須賀城を築く。
1578	天正6	11.3 武田勝頼遠江攻略、横須賀城に迫る。家康、横須賀城を救援。
1579	天正7	10.19 徳川家康、武田勝頼攻撃で浜松城より懸川城に出陣。
1580	天正8	この年 懸川城主石川家成隠居、康通襲封。
1581	天正9	3.22 徳川家康、高天神城攻略、落城する。 この年 家康、遠江全域を掌握。
1582	天正10	3.11 武田勝頼（37歳）甲斐で滅ぶ。 6.2 本能寺の変、明智光秀謀反、織田信長自殺（49歳）。
1586	天正14	12.4 徳川家康、浜松城より駿府城に移る。
1588	天正16	7.8 豊臣秀吉、刀狩令を出す（兵農分離）。
1589	天正17	5.19 （伝）西郡局没す（38歳）。

西暦	年 号	事 項
1590	天正18	8. 1 家康（関八州与えられ）、江戸城に入る。 この年 豊臣秀吉、全国統一をする。 山内対馬守一豊、近江長浜より懸川城に入る。石川康通上総成東に移る。 真如寺、山内一豊を開祖として創立。
1591	天正19	3.13 豊臣秀吉、諸国を検地（太閤検地）。
1596	慶長元	この年 山内一豊、懸川城天守閣完成、城郭並びに城下町の整備を進める。
1597	慶長2	3. 一 懸川城外円満寺を総堀普請で西町に移す。
1598	慶長3	8.18 豊臣秀吉没す（62歳）。
1600	慶長5	この年 山内一豊、家康が会津上杉東征の際、中山久延寺に茶亭を建て饗応。 9.15 関ヶ原の戦い、東軍家康、西軍を撃破。
1601	慶長6	1. 一 徳川家康、東海道伝馬の制度を定める。 1. 8 山内一豊、関ヶ原の戦功により土佐に転封（慶長10年9.20 一豊没す）。
1603	慶長8	2. 一 松平隠岐守定勝、下総小南より懸川城に移る。 2.12 徳川家康、征夷大將軍となり江戸幕府を開く。 11.11 城主松平定勝、嫡子定吉自害（19歳）。遠江塚に葬る。
1604	慶長9	2. 一 幕府、東海・東山・北陸の諸街道を修理一里塚を築く 12.16 東海地方に地震。
1607	慶長12	4.29 松平定勝、伏見城代に。子定行掛川城を継ぐ。
1615	元和元	7. 7 徳川秀忠、諸国大名を集め、武家諸法度13条を下す。
1616	元和2	4.17 徳川家康（75歳）駿府で没し、久能山に葬る。
1617	元和3	2. 一 松平定行、伊勢桑名に転封。横須賀より安藤帯刀直次掛川城に入る。 5.20 東海道諸駅宿賃を定める。
1619	元和5	7.19 安藤直次、紀州田辺に移る。松平越中守定綱、常陸下妻より移封。
1621	元和7	8. 一 定綱、地震大雨で破損の天守閣の修復を行う（再建設あり）。
1622	元和8	2.10 駅馬駄賃を制定する。
1623	元和9	7.27 徳川家光將軍宣下 この年 松平定綱淀城に移り、代官中野七蔵重吉掛川城を預かる。
1624	寛永元	11.13 諸大名の妻子を江戸に置くことを決める。

西暦	年 号	事 項
		このころ名主、五人組制度始まる。
1625	寛永 2	1. 11 朝倉筑後守宣正、徳川忠長の付家老として掛川城を預かる。
1626	寛永 3	この年 成滝より本所に至る新東海道を作る（寛永新道）。 江戸須田町に平将門の古墳発見、神田明神に祀る。
1631	寛永 8	9. 19 東海關東地方大洪水、元笠屋町流失する。
1632	寛永 9	1. 24 徳川秀忠没す（54歳）。 11. 16 朝倉宣正、徳川忠長事件に関連し配流。掛川城代官高室金兵衛預かる。
1633	寛永10	2. 28 第一次鎮国令を出す（寛永16年鎮国完成）。 3. 3 青山大蔵少輔幸成、下総姉崎より掛川城に入る。 3. 11 東海道諸宿に継飛脚給米を下付。飛脚制度確立。
1635	寛永12	6. 13 遠江、伊豆暴風雨（死者5,000余人）。 6. 21 参勤交代の制度確立。 7. 28 青山幸成、摂津厄崎に転封。 8. 4 松平大膳亮忠重、駿河田中より掛川城に入る。
1636	寛永13	12. 13 朝鮮通信使、江戸城で徳川家光と会見。
1637	寛永14	このころ 助郷村定める（諸説あり）。
1639	寛永16	2. 12 松平忠重没す。嫡子忠俱幼少で即日信州飯山に移封。 3. 3 本多能登守忠義、播磨より掛川城に入る。
1644	寛永21	3. 8 本多忠義、越後村山へ転封。 3. 18 松平伊賀守忠晴、駿河田中より掛川城に入る。 この年 久能城廃城となり大手門を掛川城北門とする。
1648	慶安元	1. 19 松平忠晴、丹波亀山に転封。 1. 21 北条出羽守氏重、駿河田中より掛川城に入る。
1649	慶安 2	2. 26 慶安御触書（郷村勤農条令）を出す。 7. 15 江戸幕府、市中に盆踊りを奨励。
1650	慶安 3	3. 14 伊勢参り始まる。
1651	慶安 4	4. 20 徳川家光没す（48歳）。
1656	明暦 2	この年 北条氏重、徳川家光の廟を建立。龍華院とする。
1657	明暦 3	1. 18 江戸明暦の大火、江戸城にも及ぶ。2. 29 饑死者万人塚を本所に建立。
1658	万治元	11. 1 北条氏重没す。嗣子なく家断絶。代官宮崎三左衛門城を預かる。 12. 15 横須賀城主本多越前守利長、掛川城を預かる。 12. 28 駅法を制定、助郷制確定する。

西暦	年 号	事 項
1658	万治元	このころ 小笠山腹摺り越え切通しを開く。
1659	万治 2	1.28 井伊兵部少輔好直、三河西尾より掛川城に入る。
1660	万治 3	8.20 東海關東大風雨。 この年 掛川城玄閣下門建築。
1663	寛文 3	4.25 掛川城下火災。 5.23 武家諸法度改め諸大名に頒布、殉死を禁ずる。 この年 江戸大坂往復飛脚業が始まる。
1672	寛文12	1. 6 井伊直好没す、可睡斎に葬る。3.5 子井伊伯善守直武遺領を継ぐ。
1676	延宝 4	この年 正願寺愛染堂へ井伊氏老母供料をおくる。
1679	延宝 7	9.一 掛川城内中西馬場に馬見所を建つ。
1680	延宝 8	5. 8 徳川家綱没す (40歳)。 8.21 徳川綱吉將軍宣下、貞享4年1.28生類憐み令を出す。
1681	天和元	この年 井伊直武、神代地に弘法寺を開創。
1690	元禄 3	2.19 掛川城下大火災、下俣より新町まで焼失。 このころ 元禄文化が栄える。
1694	元禄 7	6. 8 井伊直武没す。11月井伊兵部少輔直朝遺領を継ぐ。
1701	元禄14	3.14 赤穂藩主殿中で吉良氏に刃傷。 4.13 幕府、諸大名に参勤交代随員の減員令を出す。
1705	宝永 2	12.12 井伊直朝乱心により養子直矩1万5,000石減封の上、越後与板に移封。 代官宮崎三左衛門、松平清衛門、城を預かる。
1706	宝永 3	1.28 松平遠江守忠喬、信州飯山より掛川城に入る。
1707	宝永 4	7.一 諸駅困窮により東海道は3割値上げを許す。 10. 4 東海地方大地震、掛川城下大被害を被る。 11.23 富士山大噴火、近国の田畑埋没し宝永山ができる。
1709	宝永 6	1.10 徳川綱吉没す (64歳)。1.20 生類憐み令を廃止。 5. 1 徳川家宣將軍宣下。
1711	宝永 8	2.11 松平忠喬、摂津尼崎へ転封。 2.11 小笠原宥岐守長照、武蔵岩槻より掛川城に入る。
	正徳元	5.一 遠江今切關所に通行検査令を出す。
1716	享保元	8.13 徳川吉宗將軍宣下。この後、享保の改革に着手。
1719	享保 4	4.14 江戸町奉行を南北の2員とする。 10. 1 吉宗、朝鮮通信使と接見。
1721	享保 6	8. 2 評定所門前に目安箱を設置する。
1722	享保 7	7.26 日本橋に諸国新田開発奨励の高札を建てる。

西暦	年 号	事 項
1725	享保10	11.一 定助郷と大助郷の区別を廃す。 享保12年青木昆陽、初めて甘藷の栽培をする。
1731	享保16	12.20 新町吉兵衛方より出火、73戸焼失。
1739	元文 4	9.28 小笠原長照職を辞し、山城守長庸襲職。
1744	延享元	6. 6 小笠原長庸没す。8月能登守長恭遺領を継ぐ。 このころ 浜島庄兵衛（日本左衛門）遠江国等を横行。
1745	延享 2	9. 1 徳川吉宗隠居、家重家督を継ぐ。 水戸藩、百姓町人の女を養女として藩士に嫁がすこと禁ずる。
1746	延享 3	8.一 大池村宗右衛門、日本左衛門に襲われ金1,000両を強奪される。 9.25 小笠原長恭幼少及び領政不備で陸奥棚倉に移封。 太田摂津守資俊、武蔵上野館林より掛川城に入る。
1751	宝暦元	6.20 徳川吉宗没す（68歳）。2年 北池新田できる。
1757	宝暦 7	12.24 十九首吉左衛門方より出火、28戸焼失。
1760	宝暦10	4. 1 徳川家重退隠（11年 6月没）。 9. 2 徳川家治将軍宣下
1763	宝暦13	12.10 太田資俊没す（44歳）。12.19 太田備中守資愛襲職。
1766	明和 3	この年 御前崎で甘藷の植え付けをする。
1767	明和 4	7. 1 田沼意次、側用人・老中となり、田沼政治はじまる。
1770	明和 7	4.16 百姓の徒党、強訴、逃散を禁じ、訴人褒賞の高札を郷村に立つ。
1773	安永 2	11.27 掛川宿城内に大火。
1781	天明元	閏 5.11 太田資愛、西の丸若年寄となる。
1782	天明 2	7.15 武蔵、相模大地震東海地方に及ぶ。
1783	天明 3	7. 6 浅間山大噴火、死者 2万人。天明大飢饉、安永 5年～天明 6年奥羽地方を中心に大惨事。
1785	天明 5	6.17 米高値、流行病で宿場難渋につき、7月より10年間人馬賃銭 4割増とする。
1786	天明 6	9. 8 徳川家治没す（50歳）。7年 4月 徳川家斉将軍宣下。
1787	天明 7	6.19 松平定信、老中となり寛政の改革に着手。
1789	寛政元	4.11 太田資愛、京都所司代となる。
1793	寛政 5	3. 1 太田資愛、老中となる。享和元年 6. 7 病に付老中を免ぜられる。
1795	寛政 7	10. 3 江戸市中の女髪結を禁止する。 この年 本居宣長「玉勝間」第 1編刊行。

西暦	年 号	事 項
1796	寛政 8	10. 一 太田資愛、石川依平を城中に招く。
1798	寛政10	4. 24 蘭人ケースベルト・ヘンミー掛川宿で病死、天然寺に葬る。
1799	寛政11	12.10 内山真龍「遠江風土記伝」13巻完成。
1800	寛政12	3. 30 湯島聖堂、旗本・御家人・庶民聴講す。 この年 富士山の女人登山を許可す。
1801	享和元	12.25 高山村に大火。2年1. 6 高山新酒を始める。
1802	享和 2	1. 一 十返舎一九「東海道中膝栗毛」初編刊行。 2. 一 郭内に落校北門書院を設立、弘化元年徳藏書院とす。
1803	享和 3	この年 兵藤庄右衛門「遠江古跡図説」を著す。 勘定方役人山田大吉「東海道分間絵図面」を作成。
1805	文化 2	このころ 太田資愛、斎田茂先・山本忠英に命じ「掛川誌稿」の編集を始める。 2. 21 太田資愛没す(68歳)。4. 6 太田摂津守資順襲職。 このころ 西南郷久保沢に小亭偕楽園を建つ。
1808	文化 5	10. 7 太田資順、江戸で没す(47歳)。12. 7 先代の弟太田備後守資言襲職。
1810	文化 7	6. 17 太田資言没す(33歳)。8. 11 太田備後守資始襲職。 9月斎田茂先没す(42歳)。
1811	文化 8	7. 一 栗田士満没す(75歳)。
1816	文化13	11.12 駿河遠江掛川領の百姓減免を強訴。後横須賀・田中藩にも波及。
1818	文化15	3. 2 龍草院徳川家光廟焼失。文政5年11.19 太田資始によって再建。
1820	文政 3	6. 29 兵藤庄右衛門没す。4年8. 22 内山真龍没す(82歳)。
1823	文政 6	2. 22 大須賀鬼卵没す(80歳)。
1824	文政 7	12. 2 駿河・遠江国茶生産113ヶ村、江戸茶問屋・駿河茶仲間横暴幕府へ訴訟。
1825	文政 8	2. 18 異国船打払令を出す。
1834	天保 5	4. 11 太田資始、京都所司代より西の丸老中となる。
1835	天保 6	12.22 諸大名に国絵図の作成、提出を命じる。 この年 常陸谷田郡藩で、二宮尊徳が改革仕法を始める。
1836	天保 7	8. 13 潮風で作物等に大被害。天保の大飢饉(天保3～8年全国的大凶作)、一揆打ち壊し併発。
1837	天保 8	2. 19 大塩平八郎の乱。

西暦	年 号	事 項
1837	天保 8	4. 2 太田資始、西の丸老中より本丸老中となる。 4. 2 徳川家斉將軍を辭す。9. 2 徳川家慶將軍宣下。
1839	天保10	6. 14 画家村松以弘没す (68歳)。 12. 18 蛮社の獄。
1841	天保12	5. 15 天保改革令を出す (老中水野忠邦)。 6. 3 老中太田資始、病氣免役隠居。太田摂津守資功相続。 6. 6 倭約令を発し、質素・倭約を命ずる。 11. 一 江川太郎左衛門初めて鉄砲作る。 この年 中村葛嶺没す (64歳)。
1843	天保14	4. 一 小田原藩、尊徳仕法を始める。 この年 十東井齊没す (61歳)。
1844	弘化元	4. 21 松崎惟堂没す (74歳)。 この年 大庭借助 (松風) 没す (80歳)。
1846	弘化 3	この年 木町を喜町と改める。
1847	弘化 4	この年 岡田佐平治等、日光に二宮尊徳を尋ね教えを受ける。
1848	嘉永元	12. 一 岡田佐平治、倉真牛岡報徳社を創立。
1852	嘉永 5	この年 藩より干害違作につき金1000両と3000俵下さる。
1853	嘉永 6	6. 3 アメリカ使節ペリー浦賀に来航。
1854	安政元	3. 3 日米和親条約調印。 6. 7 江川太郎左衛門、葦山に反射炉を造る。 11. 2 海野予介没す (73歳)。 11. 4 安政大地震、江戸・東海地方倒壊1万余戸 天守閣居城各門、城下町、近村倒壊損傷被害甚大 (安政改元11月27日)。
1855	安政 2	10. 2 江戸大地震。1万4千軒倒壊、死者7千余人。 11. 15 掛川城修築。 この年 伊勢藩おかげ参り起こる (民衆の集団的伊勢参宮)。
1856	安政 3	8. 25 東海地方数日間の大雨で大被害。4年7. 29 大雨で大被害。
1858	安政 5	4. 23 井伊直弼大老となる。6. 19 日米修好通商条約調印。 6. 23 太田資始老中となる。6年7. 23 資始老中を罷免。 7. 6 徳川家定没す (35歳)。10. 25 徳川家茂將軍となる。 7. 8 幕府、外国奉行を置く。9. 7 安政の大獄始まる。
1859	安政 6	9. 4 石川依平没す (69歳)。 この年 洗濯石鹼、化粧石鹼輸入。安政7年ミシン輸入。
1860	万延元	11. 17 周智郡掛川領46ヶ村百姓、米価騰貴困窮で城下に押寄せ救助をこう。

西暦	年 号	事 項
1862	文久 2	1. 14 太田資功没す(48歳)。太田備中守資美相続。 大谷嘉兵衛横浜で茶貿易。唄「かっぱれ」流行。 8. 22 参勤交代制緩和、3年に1度出府、妻子帰国。
1863	文久 3	5. 6 太田資始老中となる。5. 21 資始眼病で老中を放免。 10. 8 村松弘道没す(66歳)。この年後藤美行没す(81歳)。 この年 時計輸入始まる。
1864	元治元	6. 5 新撰組、池田屋の長州藩士を襲う。 7. 23 第1回長州征伐。慶応元年、第2回長州征伐。 この年 江川太郎左衛門農兵訓練を開始。
1865	慶応元	8. 24 幕府、初の近代工場横浜製鉄所竣工。
1866	慶応 2	7. 20 将軍徳川家茂大坂城で没す(21歳)。 8. 20 徳川慶喜、宗家相続を布告。 慶応2年～明治2年全国毎年凶作、米価暴騰生活困窮。
1867	慶応 3	5. 12 太田資始没す(69歳)。 9. 一 遠江国東海道筋に「ええじゃないか」騒動始まる。 10. 14 徳川慶喜大政奉還。15日朝廷受入れ、江戸幕府消滅。 12. 9 王政復古の大号令を出す。
1868	明治元	(明治5年までは陰暦を用いる) 1. 3 戊辰戦争起こる(2年5. 18 五稜郭開城で終わる)。 2. 9 有栖川宮東征大総督となり、遠州報国隊(赤心・伊吹隊も)従軍する。磐田東郷参加。 2. 一 掛川パークス事件おこる。 3. 14 五箇条の誓文、電兆安撫・国威宣揚の旅輪を出す。 3. 28 新政府、神仏判然令を出す(排仏毀釈運動おこる)。 4. 11 江戸城開城、徳川慶喜水戸に退隠。 4. 一 府県藩設置により掛川藩は静岡藩の支配となる。 5. 24 徳川家達、駿河府中に封ずる、70万石。 5. 一 太田資美、家達入国により上総国芝山(のち松尾)に転封が決まる。 5. 一 掛川に民政役所を設置。 7. 17 江戸を東京とする詔書を出す。 8. 26 新政府、天皇誕生日に天長節を執行することを布告。 翌27日天皇即位の大礼。 9. 8 明治と改元、一世一元制を定める。 この年 原野谷川出水により被害あり。
1869	明治 2	1. 一 太田藩士全員上総国山武郡芝山に移る。4月掛川御城

西暦	年 号	事 項
1869	明治 2	内総明渡しとなる。 1.13 掛川に奉行所を設置、三坂善輔仮役所を伊達方村九郎左衛門方に置く。 3.20 明治天皇、東行の途次掛川本陣沢野方に御宿泊。 3.25 甲賀源吾没する。 6.17 版籍奉還を許し藩知事を任命、徳川家達、静岡藩知事となる。 6.20 府中を静岡に改む。 7.8 太政官制を復活、2官6省を設置。 7.一 旧幕臣、牧之原の開拓を始める。 8.一 掛川勤番組が置かれる。 9.20 掛川に郡政役所を設置、権少参事多田統三郎統轄する。 12.25 東京・横浜間に電信開通。 この年 掛川に沼津兵学校支寮が設置される。
1870	明治 3	この年 神戸元町で牛肉すきやき店開業。 1.3 大教宣布の詔出る。(神道による国民思想の統一) 3.一 六軒町に藩立掛川小病院を開設。 4.一 大井川の徒歩制度が廃止される。 9.1 掛川城内に小学校創設(静岡藩小学校が掛川等10か所に設置を布達)。 9.19 平民に苗字(姓)が許される。 10.23 郡政役所が郡方役所と改称。村入用規則を定める。 10.一 各宿駅本陣、脇本陣を廃止する。 12.一 古沢一庵没する。 この年 飛脚継立の制を改め、信書郵便の制実施。 流行…東京でメリヤスのシャツ・ズボン下、トンビ(外套)
1871	明治 4	3.1 掛川郵便取扱所開設(県下主要地にも)。 4.4 戸籍法を定める(行政区画の区を設置、戸長・副長を置く)。 5.10 新貨条例を定める(呼称円・銭・厘、10進1位法、1両を1円とする)。 6.一 菅田東稻没する(25歳)。 7.14 天皇、廃藩置県の詔書を出す(3府302県)。 7.18 文部省を設置する。7.28 兵部省に陸海軍を置く。5年2.28 陸海軍省となる。 8.9 散髪、廃刀の自由を認める。9.7 田畑勝手作を許可

西暦	年 号	事 項
1871	明治 4	9.10 三島大社神主谷田部盛治没す(48歳)。 9.30 沼津兵学校政府移管 掛川兵学校支寮を廃止、掛川聚学所となる。 10. 3 宗門人別帳(寺請制度)廃止。 10.28 府県知事を設置。11. 2 県知事を県令と改称。 11.11 浜松県を置き遠州一円を管轄(県権令、多久茂旗を任命)戸長・副長を指名。 この年 大井川渡船開始、失業した川越人足牧之原に入植。東京で人気職人…洋服・軍服仕立職。衰弱…駕籠屋。 11.一 人力車営業開始。
1872	明治 5	1.10 東海道各宿伝馬所廃止、各宿の助郷解散命令出る。 1.25 県内を69区に分け、掛川に浜松県第3集会所を設置。 1.29 政府、初めて全国戸籍調査を実施。3311万825人、壬申戸籍。掛川地区第17～22区に。 1.一 福沢諭吉「学問のすすめ」を刊行。 2.15 土地永代売買の禁を解く。 8. 3 学制を頒布(義務教育小学校下級8級、上級8級〔毎級6か月〕)。掛川聚学所を掛川小学校とする。 9.12 新橋～横浜間に鉄道開通。 10.24 山崎豊没す。 10.一 日坂郵便取扱所開設する。 10.一 庄屋・名主の呼称を廃止、戸長、副戸長制とする。 11. 9 太陽暦を実施(この日を明治6年1月1日とする)。 11.15 国立銀行条例により銀行設立を許可。 11.28 徴兵の詔書が出される。6年1月10日徴兵令定む。 12.一 連雀町大火(約150戸焼失)。 この年 浜松県等で地券交付事業に着手する。
1873	明治 6	1.一 浜松県士族平民心得書を布告。 2. 7 浜松県から斬髪奨励の布告(散髪者増加、ザンギリ頭をたたいてみれば文明開化の音がする)。 2.16 提燈社官許「静岡新聞」を創刊。 2.22 浜松県管内を3大区82小区に分け、大区長・小区長・副小区長を配置。 3. 7 神武天皇即位日を紀元節と称す。 4.一 掛川城御殿を掛川小学校へ無償払下げ。 4.一 飛脚業を禁止、郵便を政府の専業とする。 5.24 小区制を改め県下を7大区とする。

西暦	年 号	事 項
1873	明治 6	6. 8 石高制を廃止、反別改正。 6. 14 静岡県選卒（巡査の前身）屯所を設け47名を置く（8年10.24 選卒を巡査と改称）。 7. 28 地租改正条例を布告、地券新設、地価100分の3を地租とする。 8. 一 静岡両替町にガス灯ともる。 9. 19 池田孝路没す（79歳）。 11. 10 内務省を置く。 11. 一 岡田良一郎、資産貸付所を浜松に置き、掛川に分所を置く。 12. 1 郵便はがき、封裏（切手を印刷した封筒）初めて発行。 この年 開誠学校教師ウィルソン（米）初めて野球を紹介。
1874	明治 7	1. 17 板垣退助等民選議院設立の建白書を提出。 2. 一 浜松県、地券交付完了。 2. 一 天竜川に架橋、3月安倍川に架橋。 3. 21 海軍兵学家で競闘遊戯会を行う（運動会の初め）。 4. 一 浜松県、地租改正に着手。 5. 12 地租改正条例により貢租を石代金納とする。 5. 17 浜松県、地租改正に付き人民心得書を布達。 6. 一 浜松県、学区を定め、学校設置の町村を指定。 この年 石油ランプ急速に普及。
1875	明治 8	1. 8 静岡師範学校開設（9年女子師範学校付設）。 1. 一 掛川郵便取扱所を掛川郵便局と改称。 3. 7 県下各地に警察署を置く（掛川に警察第6出張所開設、巡査13名）。 4. 14 漸次立憲政体を立てるとの詔出る。 6. 28 新聞紙条例を定める（反政府運動取締り）。 8. 30 地租改正により土地測量実施（9年末までに改正事務完了を通告）。 11. 12 遠江国報徳社を浜松に設立、社長岡田佐平治、12月社長岡田良一郎となる。 この年 大井川に有料橋が掛けられる。 勲業寮米国よりオレンジ・ブドウ苗木購入。 ・小幡英之助初の歯科医免許得る ・朝倉松五郎、洋式メガネ作製。
1876	明治 9	2. 一 中町に警察署庁舎建築。

西暦	年 号	事 項
1876	明治 9	3.28 廃刀令が出る。 5.28 伊藤嵐牛没す(79歳)。戸塚静海没す(75歳)。 5.一 重新静岡新聞創刊(10年3月静岡新聞と改称)。 6.16 中町大火(西町～達達まで約130戸焼失)。 8.5 金禄公債証書発行条例を定める。 8.10 浜松県に公選民会設立、議長に岡田良一郎を選任。 地租改正、石高を地価に改める。この後、交換米取消等の問題紛糾おこる。 8.21 浜松県を廃し、静岡県の管轄となる。掛川、第10大区に入る。 9.一 地方裁判所を設置。 この年 掛川城址、掛川町へ払い下げる。 東京～大阪間の長距離馬車が県下を通行する。
1877	明治10	1.4 租税を減ずる詔書が出る(地租2.5/100に改定)。 1.25 県下12大区に分け第10大区役所を掛川に置く。大区長に岡田良一郎。 1.30 西南の役が起こる。倉真村内田熊十戦死。 8.21 第一回内国勸業博覧会、東京で開催。 10.5 岡田良一郎、冀北学舎を倉真に開設。 12.28 東京株式取引所設立許可。 この年 平岡熊米国より帰国、野球の指導を始める。
1878	明治11	2.一 岡田良一郎、掛川に農学社を起こす。勸業演説会を盛んにする。 3.3 岡田佐平治(無息軒)没す(67歳)。 3.一 東海道大井川に架橋。5月パリ万国博覧会開催。 7.22 地方自治三新法定める(郡区町村編成法・府県会規則・地方税規則)。 11.1 明治天皇、北陸・東海巡行の途次、掛川山崎千三郎方に御宿泊。 10～12月 第10大区死因ワースト1、神経系諸病、2、消化器諸病、3、流行病。 この年 掛川宿内牛肉屋18軒、葛布は広幅を織り始める。
1879	明治12	2.一 府県会設置、5.10 府県会規則による第1回通常県議会開会。 3.一 第1回県議会選挙施行、佐野郡、山崎録郎当選。 3.12 県下の区制を廃し、郡政施行(伊豆4郡、駿河7郡、

西暦	年 号	事 項
1879	明治12	遠江12郡、計23郡、郡長任命)。 3.25 佐野城東郡長に岡田良一郎、郡役所を円満寺に開庁。 6.4 東京招魂社を別格官幣社とし、靖国神社と改称。 6.26～ 岡田郡長郡下を巡視、各村勸農督励、善行者6名に褒賞。 8.5 西下俣町佐藤金三郎、洋酒店開業(洋酒は葉になると宣伝文句)。 9.15 第1回製茶共進会横浜で開催。 9.29 学制を施し教育令を定める。義務教育3年に。 9.一 県立第4掛川病院開院(7月県会で設置決定)。紺屋町に(管轄 佐野・城東・榛原・山名・周智郡)。 10.一 掛川(仁藤町)に電信分局設置決まる。 11.4 掛川区裁判所、天然寺に開庁(10月1日設置)。 12.一 モース、大森貝塚調査。 この年 立権社が政治結社として掛川で組織される。 掛川新聞閲覧所、西町にあり。
1880	明治13	4.14 京浜間で日本人機関士初めて乗務。 3.15 愛国社、第4回大会に県代表96名参加。17日国会期成同盟を結成。 3.22 参同社員等40余名、国会開設署名運動開始を決議。 4.5 集会条例を定める(政治集会、結社は事前に警察署の許可を必要とする他)。 4.16 姫喜座有町に落成。 4.17 静岡県令、各町村に対して町村会規則作成を布達。 5.30 小夜の中山に有料道路、中山新道開通(杉本権蔵等の尽力…日本初の有料道路?)。 7.3 掛川警察署庁舎火災により洋風2階建てに改築落成。 8.30 県立掛川中学校設置、校長、岡田良一郎郡長。10.1開校。 10.10 掛川銀行設立開業。 10.26 佐野郡北部、周智、榛原郡降雹により大被害。農学社教授広告出す。 11.5 官設工場払下概則を定め、漸次民有化を命令。 12.27 国会開設建白書提出、県下1万5,735名署名。 元老院、日本国憲案を上奏。 この年 10.25 宮内省式部寮で君が代作曲。11.3 初演奏。

西暦	年 号	事 項
1881	明治14	2.一 堀内政治郎、家代に私塾少寧学舎を作る。 5.23 掛川に製茶直輪会社を設け、磐田～榛原に7分社を置く。資本金50万円。 8.一 緑町に掛川区裁判所庁舎新築移転。 10.1 東海晩鐘新報創刊。 10.12 明治23年に国会開設する旨の詔書発せられる。 10.18 自由党結成会議、29日総理に板垣退助を選挙。 11.一 掛川に会信社（会信銀行）設立。 松本文治（39）、小沢兵武（76）、鈴木陸平没す。
1882	明治15	1.4 軍人勅諭が發布される。 3.14 憲法制度調査のため伊藤博文等渡欧。 3.16 立憲改進党結成、総理に大隈重信決定。 6.27 日本銀行条例を定める。10.10 営業開始。 7.27 県立第4掛川病院廃止、公立掛川病院と改称。佐野郡内開業医18名、人口比1,745人に1人。 8.30 平岩佐平没す（70歳）。 12.10 県立掛川中学校、郡立となる。 12.一 浜松に測候所を設置。 この年 岡田良一郎、掛川に器械製糸場を設立。 このころ、ラムネ、日本人も飲用。
1883	明治16	3.25 尾崎行雄等姫喜座で政談演説会を開く。 4.11 農学校通則を定める（実業教育法令の初め）。 7.2 官報第1号を発刊。 7.25 「勸農俚語集」掛川農学社で創刊。 7.31 文部省、小中学校、師範学校教科書採択を認可制に。 9.一 掛川宿水事情、早魃で飲み水に困窮、逃げ出す人も。 10.30 岡田良一郎等3郡長、分県問題で辞任。池田忠一新郡長となる。 11.28 鹿鳴館開館する。 この年 県下で初の自転車に乗る者お目見えする。
1884	明治17	1.17 掛川町大火、270戸焼失、死者13人。 2.10 静岡大務新聞創刊（のち静岡新聞改称）。 3.2 掛川農学社、集談会会場落成。 3.15 地租条例を定める。 4.一 静岡追手町に静岡茶葉取締所設立。4月静岡茶葉組合茶職人茶摘女日当定める。

西暦	年 号	事 項
1884	明治17	7.26 県中西部の借金党小笠山で集会。 7.一 掛川宿松本伊作水灌し器発明、甘泉社で発売。 7.一 郡立掛川中学校、県立となる。 7.一 連合戸長役場を設置する。 9.3 掛川中学校、郡内の寄付により校舎新築。 9.15 東海道筋暴風雨で大被害、佐野・城東郡下全壊1355戸、半壊1854戸、死傷17人。 9.一 関口隆吉、県令となる（のち知事）。 10.1 本郷郵便取扱所が開設される。 11.29 小学校の教科書に初めて英語の初歩を加える。 この年 松方デフレ政策で農民生活深刻化する。 ・大谷嘉兵衛等茶業組合中央本部を創立。 ・丸善、輸入万年筆の販売を始める。
1885	明治18	1.1 掛川郵便局、電信事務取扱を開始。 1.27 ハワイ第1回官約移民927人出航。 5.31 橋耕耨役す（65歳）。 5.一 山葉寅楠、最初のオルガン作製に成功。 6.6 日本銀行、兌換銀行券発行。19年1月より実施。 12.22 太政官制を廃し、内閣制度を実施。第1次伊藤博文内閣成立。 12.26 鉄道局官制を定め、初代鉄道長官に井上勝を任命。 この年 下俣町に大火、56戸焼失。
1886	明治19	2.8 県立掛川中学校、浜松中学校に合併移転。跡地を翌年1月公立掛川尋常小学校とする。 2.一 掛川宿消防夫600余名で編成。18～40歳の者、1町に1名頭取を置く。 3.一 蚕糸業組合取締規則・同取締所設置。蚕糸・蚕種検査開始。 4.10 小学校令により義務教育4年となる。高等4年任意。 6.一 鉄道敷設、中仙道より東海道に変更される。 7.20 地方官官制公布により県令を知事と改める。本県初代知事、関口隆吉、22年鉄道事故死。 9.一 原川郵便取扱所が開設される。 12.1 掛川農学社内に獣医講習所を設置。生徒募集。 この年 全国天然痘死亡者1万8,678人、腸チフス1万3,807人死亡。

西暦	年 号	事 項
1887	明治20	3. 一 佐野郡教育会発足（23年城東と合併、28年小笠郡教育会となる）。 3. 一 掛川区裁判所に検事局増設。 4. 4 絵入東海新聞創刊。12.20 晝鐘新報創刊。 12.26 保安条例を公布（秘密結社の集会の禁止、屋外集会運動の制限他）。 この年 山崎千三郎、大井川疏水計画を立て測量を開始。 佐野郡人口3万4,005人。 小山又三郎没す（66歳）。トマトこのころから食用となる。
1888	明治21	4.10 養蚕伝習所を掛川農学社内に設置。 4.25 市制・町村制公布（22年4.1より施行）。 6.13 内務大臣、町村合併規準を地方長官に訓令。 9. 一 小笠郡米穀改良組合を設立。 10. 一 東海道鉄道用地を買収。 11. 1 絵入東海新聞を東海日報と改題。
1889	明治22	この年 掛川宿に洋服、靴、帽子、ビール等の新聞広告目立つ 1. 1 東京～熱海間で日本最初の公衆電話開通。 1. 一 山崎千三郎、東海委託会社を設立。資本金10万円。 2.11 大日本帝国憲法発布、衆議院議員選挙法公布。 掛川憲法発布祝宴会、緑町衆楽館で開催。 4. 1 市制・町村制施行（この日施行は2府33県、東京は5. 1）。掛川地域掛川町と日板村等14村誕生。 4.16 東海道鉄道開通、掛川駅開設（7. 1 新橋～神戸間全線開通、上下各3本）。 4.18 掛川運送会社等、鉄道関係会社誕生。 9.11 大暴風雨。天竜川5か所潰壊、掛川各河川、田畑被害を受ける。 9.27 地租代米納廃止を公布。 12. 一 日本最初の経済恐慌起こる。
1890	明治23	この年 鉄輪の自転車、大阪神戸で走る。 2. 4 県会議員改選、岡田良一郎当選。 4. 3 私立掛川幼稚園を報徳社内に開園。 4. 一 掛川町の耶穌教。天主教は笠屋町、新教は蓮飯、正教は肴町にあり。 4. 一 掛川町の商業会社、銀行、運送、葛布等8社あり。

西暦	年 号	事 項
1890	明治23	5.17 府県制・郡制各公布（翌年4月より施行）。 5.一 掛川町に共同医術開業（三到堂医院開設、鈴木・中沢・鈴木医師）。 7.1 第1回衆議院議員選挙、岡田良一郎当選。 県会議員補欠選挙、鈴木八郎当選。 10.30 教育勅語発布。12.25 教育勅語謄本各校に伝達。 10.一 郡に郡視学、市町村に学務委員をおく。 11.25 第1回帝国議会開会。 桂花園桂花没す（70歳） 11.一 東海道鉄道開通で日坂一時寂れ、今年豊作で旅宿持ちも直す。堀之内、銀行商店等80軒で建築盛ん。
1891	明治24	9.24 静岡民友新聞創刊。 10.28 美濃大地震。全壊焼失142,000戸、死者7,200人。 この年 森街道開通。このころ学校運動会盛んになる。
1892	明治25	2.15 第2回衆議院議員選挙（品川内相等選挙干渉騒動）。 8.19 岡田良一郎、掛川信用組合設立。 9.4 駿遠地方暴風雨。 12.14 孝子弥吉没す。 この年 唄、敵は幾万・元寇流行。
1893	明治26	3.一 仁藤火災。 4.5 青田トンネル工事に着手。 5.一 シカゴの世界博覧会で静岡県の緑茶が好評。 6～8月 大旱魃で各地雨ごい。 7.1 立憲自由党、9.25立憲改進黨各静岡支部設立。 7.一 条約改正に関する論議が盛んとなる。 この年 資産銀行設立する。 仁藤より水垂に至る道路を八木平七が自費で作る。 山高帽子普及。バケツ使用始まる。紙風船流行。
1894	明治27	3.一 第3回衆議院選挙。 5.31 朝鮮に東学党の乱起こる。日本軍出兵。 7.16 日英通商航海条約調印。11.22日米通商航海条約調印 7.22 岡田良一郎、掛川米穀製茶取引所を開設。 8.1 日清戦争の宣戦布告。 9.一 豊橋18連隊に県下の壮丁入隊、日清戦争に派兵。 12.一 掛川西町火災起こる。 この年 大阪で懐中時計の製造を始める。
1895	明治28	2.5 鈴木虎十郎没す（30歳）。 1.一 静岡新報創刊 3.30 日清休戦条約調印。4.17 日清講和条約調印。

西暦	年 号	事 項
1895	明治28	この後、独仏露三国干渉起る。 3.31 青田トンネル開通。 6.一 郷土兵士凱旋。 7.24 大暴風雨、九州中国地方より中部地方を襲う。 8.20 西南郷村誕生、郷舎を仮役所とする。 8.一 野中至、富士山頂に観測所を設置。 10.一 熱海に県内初の電灯がともる。 この年 唄 軍歌勇敢なる水兵、雪の進軍、流行。
1896	明治29	2.一 中山光雄没す(65歳)。 3.28 葉煙草専売法等諸税法公布。 4. 1 佐野・城東郡合併、小笠郡となる。(郡の県下統廃合で13郡となる)。 4. 6 近代第1回オリンピックがアテネで開催される。 5.31 衆議院議員補欠選挙で岡田良一郎当選。 6.一 清水港開港、外国貿易港に指定、茶輸出可能となる。 7. 4 山崎千三郎没す(42歳)。 11.11 郡制最初の郡会開会。 12. 1 静岡34連隊設置(翌年3.15 駿府城跡に移転)。 この年 赤痢で22,356人、腸チフスで9,174人死亡。
1897	明治30	2. 5 官営八幡製鉄所設立決定(この後産業革命が進む)。 3.29 金本位制確立、10. 1施行。 4. 1 新府県制施行。 8. 1 東海訓盲院、掛川広楽寺に設立。 9. 8 中部、東北地方に暴風雨。 10.一 山業風琴製作所、日本楽器製造株式会社と改称。 11. 2 掛川大手橋完成。11.17 豪雨で大手橋、明治橋流失。 この年 掛川葛布海外輸出始まる。アルミ弁当箱作り始める。 唄 ハイカラ節、デカンショ節流行。
1898	明治31	1. 9 静岡農工銀行設立。 6.26 自由・進歩両党合併、憲政党静岡支部成立。11.14 憲政党・憲政本党に分裂。 8.10 第6回来議院議員選挙、松浦五兵衛・河井重蔵当選。 10.一 小笠茶業組合、埼玉県より高林式製茶機を導入。 12.30 地租条例改正(地価の2.5%から3.3%に増加)。 この年 日本で初めて映画が制作される。
1899	明治32	4. 9 大池貯蓄銀行開設。 5.21 掛川郵便局紺屋町に移る。

西暦	年 号	事 項
1899	明治32	6.30 条約改正実施に関し詔書（治外法権の廃止）。 8.19 堀之内～南山間に東馬車鉄道開通。 9.24 新府県制による第1回県議員選挙施行（当選小笠、松浦五兵衛・丸尾謙三郎・神谷常松）。 10.5 暴風雨、潮岬より本土縦断。 この年 全国肺結核死亡者6万6,408人。
1900	明治33	1.4 西町海望亭より出火、西町・中町・緑町・達雀の194戸焼失。 3.7 産業組合法公布（信用・販売・購買・生産組合）。9.1施行。 3.10 治安警察法公布（政治結社、集会、労働・農民運動等の規制）。 3.29 衆議院議員法改正（選挙権有資格、直接国税10円以上納付者）。 5.一 白石喜之助、掛川教会牧師となる（メソジスト教会）。 6.15 義和団事件のため日本出兵。 9.一 一木喜徳郎、貴族院議員となる。 10.一 掛川病院、民営に移管される。 11.一 小笠等3郡下の小作人400余名、遠州小作同盟会を組織。 11.一 政友会静岡支部を結成。 12.5 吉岡弥生、東京女医学校を設立。 この年 移民大騒動が起こる。唄 鉄道唄・楠公の歌流行。
1901	明治34	4.15 県立掛川中学校開校。 6.一 静岡県医学会創立。 5.一 産業組合法により郡内最初の上内田製茶販売組合開設。 6.18 九西製茶販売組合設立。 10.1 愛国婦人会静岡支部設立（2.24奥村五百子等創立）。 10.17 焼失の掛川警察署庁舎建築落成。 この年 ノーベル賞始まる。
1902	明治35	1.30 日英同盟締結（ロンドン）。 1.一 成瀬大城没す（76歳）。 2.一 掛川警察署長等収賄事件起こる。 3.15 小笠物産陳列館落成。 5.一 静岡市に電話開通。 9.一 浜松に電灯会社設立。 8.10 第7回衆議院議員選挙、松浦五兵衛・河井重蔵当選。 9.14 掛川駅に跨線橋完成。

西暦	年 号	事 項
1902	明治35	この年 小学校の就学率初めて90%を上回る（通学率68.4%）。宮田製作所新型アサヒ号自転車発売、自転車普及し始める。 太田竹城没す。（82歳）。
1903	明治36	3. 1 第8回衆議院議員選挙施行。松浦五兵衛当選。 3. 一 私立掛川女子裁縫義塾創立。監長鬼頭すま子。 4. 5 掛川、報徳社農学社会堂落成。 4. 13 小学校令改正、国定教科書制度確立。 8. 一 十九首裏遊廓開業。 この年 トラホーム流行、以降年々増加。台湾バナナ、初めて輸入。
1904	明治37	2. 10 日露戦争宣戦布告。3月県出身者静岡34連隊、豊橋18連隊に属し日露戦争に従軍。 2. 23 日韓議定書調印（国土保全他）。 3. 1 第9回衆議院議員選挙。松浦五兵衛・河井重蔵当選。 4. 4 小笠郡準教員養成所仮開所式施行（40年より正式に）。 8. 一 岡田良平、貴族院議員に勧選される。 9. 10 東京―静岡一名古屋間長距離電話開通。 この年 菊川町内田三平、新式茶摘鉄発明。
1905	明治38	7. 一 蛭川親善没す（50歳）。平尾八東没す。 9. 5 日露講和条約調印（ポーツマス条約）。 9. 9 講和反対静岡県民大会、静岡浅間神社で挙行。 この年 小夜中山新道、国道となる。
1906	明治39	1. 24 掛川駅通り火災13戸焼失。 1. 一 日露戦争従軍静岡連隊凱旋。 2. 24 日本社会党結成。 3. 31 鉄道国有法公布。 4. 1 静岡女子師範学校開校。 4. 一 静岡茶業研究会結成、牧之原に茶業研究所を開設。 この年 東海道線複線工事はじまる。三島～沼津間に県下初の電車開通。 小笠郡看護婦養成所開設。 このころ演歌パヨリンの伴奏で歌われる。
1907	明治40	1. 4 大池秋葉山石鳥居落成。 2. 25 静岡清水の郵便局で電話交換が始まる。 3. 21 小学校令改正、義務教育を6年に延長。高等小学校2年もしくは3年任意。

西暦	年 号	事 項
1907	明治40	4. 8 掛川町天守台に戦勝観世音建立。 4. 一 浜松～二俣間軽便鉄道開通。 5. 28 戸田元八郎没す(49歳)。 8. 24 関東、東海地方大暴風雨 死者459名。 この年 10. 9 浜松第67連隊設置。・静岡～江尻間に乗合自動車開通。・ゴム靴初めて製造。
1908	明治41	4. 6 掛川郵便局電話事務開始。8. 1 電話交換業務開始。 4. 24 掛川女子技芸学校開設を申請。 5. 15 第10回衆議院議員選挙 松浦五兵衛当選。 5. 一 静岡～清水間に軽便鉄道開通。 7. 20 一木喜徳郎、内務次官に就任。 7. 21 岡田良平、文部次官に就任。 10. 13 戊申詔書発布。 11. 25 株式会社掛川座設立(登記12月7日)。 この年 杉山彦三郎、茶優良品種ヤブキタをつくる。
1909	明治42	2. 29 杉本権蔵没す(79歳)。 4. 14 種痘法公布(新生児に義務化)。 7. 25 衆議院議員補欠選挙。河井重蔵当選。 12. 一 林野管理局掛川出張所開設。 この年 人力車車輪ゴム輪となり借車営業車夫廃業増える。 唄 金色夜叉の歌、ハイカラ節流行。
1910	明治43	8. 9 東海道・関東・東北地方台風大洪水。浸水44万3000戸 県下被害甚大。 8. 22 韓国合併に関する日韓条約調印。 8. 一 清水港茶の輸出額、横浜を越す。 9. 一 掛川～相良線新道開通。 11. 3 帝国在郷軍人会発会式(県支部44年1月発会)。 11. 15 帝国農会設立。この年小笠郡連合青年会設立。 12. 14 日野大尉、代々木練兵場で単葉飛行機初飛行に成功。 この年 魔法瓶輸入される。
1911	明治44	2. 21 関税自主権を回復。 3. 29 工場法公布(日本最初の労働立法。施行は大正5年9月1日)。 7. 1 日坂郵便局電話事務開始。 7. 1 浜松市制施行。 7. 22 掛川に初めて電灯点灯。松坂水力電気遠江支社開業。 7. 25 東海・関東地方に台風、風水害出る。

西暦	年 号	事 項
1911	明治44	11.17 遠江国報徳社を大日本報徳社と改称。 この年 生糸の生産高世界1位となる。 蓄音機・レコード次第に普及し、浪花節・義太夫レコード発売。 就学率98%、通学率90%義務教育制の目標はほぼ達成。
1912	明治45	5.15 第11回衆議院議員選挙。松浦五兵衛当選。
	大正元	5.一 松井県知事、各都市誌の編纂を勧める。 7.30 明治天皇崩御（大正と改元）。 7.一 静岡市でタクシー営業始まる。
		11.11 郡立小笠農学校創立（大正11年県立となる）。 この年 早生温州みかん広島より初めて本県に移入。米価暴騰、企業不振、下層民生活困窮。
1913	大正2	1.14 憲政擁護、静岡県民大会、静岡市で開催。 2.10 護憲運動で桂内閣総辞職。 3.10 小笠山大火。 3.一 掛川区裁判所を廃し、浜松区裁判所掛川出張所として登記事務取扱。 4.1 掛川町立実科高等女学校創立（28日開校式）（大正3年新校舎落成）。 この年 静岡～浜松間の東海道本線が復線となる。 静岡、浜松に映画館ができる。
1914	大正3	1.一 袋井～横須賀間に軽便鉄道開通（中遠鉄道）。 4.16 一木喜徳郎、大隈内閣の文部大臣に就任。 4.一 日本楽器、ハーモニカの製造開始。 5.30 山崎録郎没す。 7.28 第1次世界大戦始まる。8.23 日本、ドイツに宣戦布告。10.4 静岡34連隊青島に出征。 8.29 台風、大池小学校倒壊、県下被害甚大。 8.一 パナマ運河開通。9.21 榊葉作平没す（75歳）。 このころ 大正琴流行。唄 カチューシャの歌、まっくらけのけ節流行。
1915	大正4	1.1 岡田良一郎没す（75歳）。 3.25 第12回衆議院議員選挙。松浦五兵衛当選。 5.25 日華新条約調印（対華21か条の要求を受諾）。 7.25 小笠郡誌発刊。 12.4 東京株式市場暴騰（いわゆる大戦景気始まる）。

西暦	年 号	事 項
1915	大正 4	この年 女子学生ブルーマ、女給の白エブロン普及。唄 乾杯の歌流行。
1916	大正 5	9. 1 工場法施行（女子、年少者の深夜業禁止、長時間労働制限）。 10. 9 岡田良平、寺内内閣の文部大臣に就任。
1917	大正 6	4. 20 第13回衆議院議員選挙。松浦五兵衛当選。 6. 23 小笠郡役所庁舎新築開所。 9. 15 掛川区裁判所復活開庁。 9. 12 金本位制停止。 11. 7 ソビエト政府成立（ロシア10月革命）。
1918	大正 7	このころ 胸時計普及し始める。唄 安来節、七里ヶ浜流行。 3. 27 市町村義務教育費国庫負担法公布（4月1日施行）。 3. 31 西山口～西方間道路開通。 この春世界的インフルエンザ、スペイン風邪流行、日本7～8年で、死者15万人。 8. 2 政府、シベリア出兵を宣言。 8. 15 米騒動、掛川公園に暴徒約1,000人参集、検挙者44名（大池村、雨桜村でも米騒動あり）。 9. 29 原敬内閣成立（本格的政党内閣の最初）。 11. 11 第1次世界大戦終結する。 11. 一 休戦により諸物価、株価暴落。
1919	大正 8	この年 清水港茶の全国輸出額の80%を占める。・少年用野球ボール発売、少年野球流行し始める（9年8月2日第1回少年野球大会）。 唄 ノンヤ節、浜辺の歌、宵待草、コロッケの歌流行 2. 7 中学校令改正（国民道徳の養成、並びに尋常5年よりの進学を認める）。 2. 一 各地に普選運動拡大。 3. 1 民力涵養に関する内務大臣訓令を出す。 4. 1 国立茶業試験場を牧之原に設置。 4. 10 史蹟名勝天然記念物保存法公布。 5. 23 衆議院議員選挙法を改正公布（直接国税3円以上納付者を有権者とする）。 6. 28 第1次大戦ベルサイユ講和条約調印。 10. 一 下俣、久保に電灯点火。 この年 三島に野戦重砲兵第1旅団設置。・県下初の鉄鋼漁船海照丸完成 ・玄米パン売り出される。

西暦	年 号	事 項
1920	大正 9	1.10 国際連盟発足。 2.10 県青年団連合会創立。 3.15 株価暴落混乱、戦後恐慌始まる。 4.27 掛川町上水道工事起工式挙行。 4.一 大霜害。 5.10 第14回衆議院議員選挙。松浦五兵衛当選。 6.10 時の記念日始まる。 7.一 小笠郡処女会発足。 10.1 第1回国勢調査。掛川市域の人口42,789人。 10.9 堀内政次郎没す(74歳)。
1921	大正10	4.11 市制・町村制改正公布(町村等級選挙廃止)。 4.12 郡制廃止法公布(12月4月1日施行)。 4.一 静岡連隊、澗州守備のため出発。 4.一 松竹ヤネマ第1回作品封切。 6.19 県下少年野球大会開催。 7.3 掛川町上水道通水式挙行。 9.一 袋井でメロン栽培事業開始。 12.13 ワシントン会議で四国条約調印、日英同盟廃棄。 この年 曾我郵便局事務開始。 ・県立水産試験場、日本初の漁業無線局開設。 唄 船頭小唄、枯れすすき流行。
1922	大正11	2.6 ワシントン会議で海軍軍縮条約、9か国条約に調印。 4.一 日本農民組合結成。7.一 日本共産党非合法に結成。 8.25 静岡高等学校設立。 11.一 掛川信用組合事務所澗雀に新築。 11.一 県原蚕種製造所を静岡県蚕業試験場と改称。 この年 伊達方～堀之内間道路開通。 ・岩田式(遠心力式)板摺機普及し始める。 ・全国電灯普及率70%になる。・子供服普及し始める 唄 籠の鳥流行。
1923	大正12	1.1 堀之内町誕生(西方村町制施行)。 2.28 掛川実科高等女学校、認可で県立掛川高等女学校と改称(7月20日神明町新校舎落成式移転)。 4.7 私立堀之内裁縫女学校設置認可。 7.8 東海少年野球大会で掛川尋常小学校チーム優勝。 7.23 国道安倍川鉄橋開通。 9.1 関東大震災、余震あり(清水以東交通途絶、関東より

西暦	年 号	事 項
1923	大正12	避難者県内へ)。 11.10 国民精神作興に関する詔書発布。 12.28 堀之内軌道開業。 この年 原野谷川、逆川改修工事着工。 ・地下足袋発売。
1924	大正13	1.13 一木喜徳郎、枢密院副議長となる。 2.11 清水市制施行。 4.14 全国大日本報徳社大合同す。 5.10 第15回衆議院議員選挙。松浦五兵衛当選。 6.11 岡田良平、加藤内閣の文部大臣に就任。 7.1 メートル法採用(昭和34年1月1日日本実施)。 7.22 小作調整法公布(12月1日施行)。 この年 掛川中学校などに御真影奉安設ができる。 三浦政太郎、茶にビタミンCを発見。 頃 月は無情、ストントン節流行。
1925	大正14	1.26 河井重蔵没す(72歳)。 3.1 NHKラジオ放送開始(名古屋放送局7月15日開始)。 ラジオ普及、受信機紙石式10円、真空管式120円。 4.1 県立図書館葵文庫開館。 4.13 陸軍現役将校学校配属令公布。軍事教練実施。 4.20 日坂~掛川間乗合自動車運転開始。 4.22 治安維持法公布。 4.一 静岡自動車学校設立。 5.5 衆議院議員選挙法改正公布(男子普通選挙実施)。 8.10 掛川第一小学校全国野球大会(B級)で優勝。 8.14 掛川町、大池村と合併。 10.1 第2回国勢調査実施。市域人口4万3,558人。 この年 5.1 浜松67連隊廃止。10.9 浜松飛行7連隊設置決定。 セーラー服流行し始める。
1926	大正15	4.20 青年訓練所令公布(7月1日各町村施行、4年制)。 5.21 自作農創設維持補助規則公布。 6.24 府県制・市制・町村制各改正、普通選挙制採用、自治権拡張。 6.29 掛川町緑橋落成。 7.1 小笠郡役所廃庁。 7.16 遠州小笠薬工品同業組合定款認可。 9.一 小笠郡教育協会「小笠文苑」を創刊。

西暦	年 号	事 項
1926	昭和元	12.25 大正天皇崩御、昭和と改元。 浜松高等工業学校高柳健次郎、世界初のテレビ実験送信に成功。
1927	昭和2	この年 唄 国境警備の歌、関の五本松歌流行。 3.15 金融恐慌県内に波及。 4.29 静岡県女子青年団発足。 8.1 掛川公園整備公開。 10.14 普選制最初の県会議員選挙施行。
1928	昭和3	この年 唄 出船の歌流行。 2.20 第16回衆議院議員選挙(最初の普選)松浦五兵衛当選。 2.10 善光寺下橋、4.5 逆川橋、8.9 瓦橋、奥姫橋落成。 3.30 身延線全線開通。 4.17 文部省、国民精神の作興を訓令。 6.23 三十五銀行掛川支店開業。 6.29 治安維持法改正(死刑、無期刑を追加)。 7.3 全県警察部に特別高等課設置を公布(静岡県9月1日設置)。 8.10 掛川第一小学校野球部A組全国大会で優勝。 10.24 静岡県体育協会設立。
1929	昭和4	この年 化学肥料普及する。・流行歌レコード吹き込み盛んになる。唄 波浮の港、鉦をおさめて流行。 7.7 第1回県連合婦人大会。 7.9 浜口内閣、金解禁断行等10大政綱発表(11月21日大蔵省令公布)。 2.14 大手橋落成。 9.10 文部省、教化団体総動員を行い中央教化団体連合会を設立。 9.一 掛川町上水道第1期拡張工事完了。 10.24 世界恐慌始まる。この日ニューヨーク株式市場大暴落 永価暴落。 10.26 大雨、掛川二瀬川で浸水200戸。 この年 高射砲第1連隊浜松に移駐。・ゴムロール式糊摺機普及し始める。・唄 東京行進曲、君恋し等流行。
1930	昭和5	私塾光東学院創立。 3.31 垂木川改修工事完了。 4.22 ロンドン海軍軍縮条約調印(4月25日統帥権干犯問題起こる)。

西暦	年 号	事 項
1930	昭和 5	5.30 天皇陛下、県下巡行の途次 大日本報徳社に行幸。 8.3 大和田トンネル開通。 8.9 閣議、公私経済緊縮運動の実施を決定。 10.1 第3回国勢調査実施。市域の人口4万5,290人。 10.一 臨時県議会開会、失業者救済関係議案討議。 この年 豊作飢饉で農作物暴落農村恐慌。・未曾有の不況で倒産休業続出。東海道を歩く失業者の群れ多し。東海道線特急列車つばめ号運転開始（東京～神戸間8時間55分）。流行ロングスカート、唄 曾長の娘、祇園小唄。
1931	昭和 6	3.11 松浦五兵衛汽車中で発病、茅ヶ崎南湖病院で没す（62歳）。 3.21 NHK静岡放送局、放送開始。 5.16 閣議、官吏減俸を決定。 9.18 満州事変おこる（柳条湖事件）。 10.24 国際連盟理事会、日本へ期限付満州撤兵を勧告。 11.一 機関誌「静岡県郷土研究」刊行始まる。 12.13 犬養新内閣、金輸出再禁止を決定。 この年 唄 酒は涙か溜息か、丘を越えて流行。
1932	昭和 7	1.28 第1次上海事変おこる。 3.1 満州国、建国宣言を発表。 4.28 失業対策事業、国道改修工事で日坂新国道開通。 4.一 逆川改修工事完了。 5.15 5.15事件、犬養首相暗殺。 6.13 衆議院時局区決議を可決。農村窮乏深刻化する。 8.6 ロサンゼルスオリンピック、水泳で牧野・宮崎優勝。 9.5 内務省、国民自力更生運動の開始を命ず。 10.1 垂木村・兩板村合併し、板木村誕生。 10.24 大日本国防婦人会創立。 この年 西方村石川功より掛川城の瓦鯉1個寄付さる。11.20 静岡市に松坂屋百貨店開店。唄 影を慕いて流行。
1933	昭和 8	1.30 ヒットラー首相就任。 3.9 ミルーズベルト大統領、ニューディール政策開始。 3.27 日本、国際連盟脱退を通告する。 4.28 遠東鉄道（二俣線）起工式挙行。 この年 3.一 静岡県国防協会発会式挙行。4.一 静岡市

西暦	年 号	事 項
1934	昭和9	あ学校、県立に移管。7. 8 大池橋落成。7. 9 N HK浜松放送局開局。11.23 太田川改修工事完了。 3.23 岡田良平没す(72歳)。3.一 満州国に帝政を実施。 4.18 静岡34連隊満州警備に出動。 9.21 室戸台風(死者行方不明3,036人、全壊流失4万戸、気 圧912ミリバール)。 12.1 丹那トンネル開通式挙行(東海道線熱海経由となる)。 この年 朝日・読売ニュース映画製作開始。
1935	昭和10	唄 国境の町、赤城の子守歌、会津磐梯山流行。 1.21 掛川銀行解散決議。 4.1 青年学校令公布(青年訓練所・実業補習学校等廃止)。 4.17 二俣線、掛川～森間開通。 5.一 堀之内軌道廃止、乗合自動車運転開始。 10.1 第4回国勢調査。市域の人口4万5,992人。 この年 平均寿命 男44.8歳 女46.5歳。 唄 二人は若い、野崎小唄流行。
1936	昭和11	1.15 ロンドン海軍軍縮会議、日本脱退を通告(無制限建艦 競争開始)。 2.26 二・二六事件(皇道派青年将校、国家改造を要求)。 5.18 陸海軍大臣・次官を現役とする旨公布。 9.25 帝国在郷軍人会令公布。 9.一 富士箱根国立公園誕生。 11.25 日独防共協定調印(12年11月6日イタリア協定調印)。 この年 アルマイト製弁当箱全盛。 唄 男の純情、あゝそれなのに等流行。
1937	昭和12	4.30 第40回衆議院議員選挙。 4.一 県立農業試験場茶業部、独立して県立茶業試験場に。 6.4 第1次近衛文麿内閣成立。 7.7 蘆溝橋事件(日華事変勃発)。 8.26 静岡34連隊、中国へ出発。 10.12 国民精神総動員中央連盟結成。 静岡県庁舎新築落成。 この年 千人針、出征のぼり、慰問袋さかん。 浪花節米若の佐渡情話、虎造の次郎長外伝。 唄 露営の歌、出征歡送歌に、人生劇場等流行。
1938	昭和13	1.7 河井弥八、貴族院議員に勧選される。

西暦	年 号	事 項
1938	昭和13	1.一 満蒙開拓義勇軍募集始まる。 3.1 綿糸配給統制規則を公布（最初の切符制）。 4.1 国家総動員法を公布（5月5日施行）。 6.9 文部省、集团的勤労作業運動実施に関する件通牒（勤労動員始まる）。 7.一 静岡県地方物価委員会、公定価格を発表。 7.5 台風、阪神地方死者933人。 8.一 県立掛川中学校、全国中学校野球大会に初出場。 9.1 農林省、第1回農業センサスを実施。 11.3 静岡県産業報国会結成。 この年 10.一 国鉄、身延線を買収。12.一 伊東線全線開通。・代用品の発売始まる。唄 麦と兵隊、日の丸行進曲等流行。
1939	昭和14	1.25 警防団令公布。4.1 施行。 2.9 政府、国民精神総動員強化方策を決定。 2.12 県立掛川中学校、校舎改築。 4.9 最初の就職列車580人、秋田より上野駅到着。 4.12 米穀配給統制法公布。 4.26 青年学校を義務教育制とする（12～19歳）。 5.12 ノモンハン事件、満蒙国境で日ソ両軍衝突。 5.22 「青少年学徒ニ賜ハリタル勅語」を下賜。 7.8 国民徴用令公布。 7.26 米国、日米通商航海条約廃棄を通告。 8.一 国民健康保険法施行、県下に125組合誕生。 9.1 第2次世界大戦始まる。 第1回興亜奉公日（毎月1日実施）。 10.18 価格等統制令公布。 この年 全国中等諸学校の入試筆記試験廃止、内申書、口頭試問、身体検査とする。 木炭自動車走り出す。・四つ珠そろばん使用開始。 唄 父よあなたは強かった 愛馬行進曲 上海の花売り娘流行。
1940	昭和15	1.一 静岡大火（焼失6,500戸余）。 3.30 満蒙開拓青少年義勇軍植松中隊297名編成。 3.一 牧之原に海軍飛行場建設を通告。 4.24 生活必需品、米、味噌、砂糖他10品目切符制採用を決

西暦	年 号	事 項
1940	昭和15	定（8月より順次実施）。 6. 1 国鉄二俣線全線開通。掛川駅舎改築。 7～8 各政党の県支部解散。8. 27 防空演習始まる。 9. 11 内務省、部落会・町内会・隣保班・市町村常会整備要綱を府県に通達。 9. 27 日独伊三国軍事同盟、ベルリンで調印。 10. 1 国勢調査実施。市域人口46,156人。 10. 12 大政翼賛会発会式。 12. 12 静岡支部発会式。16年1. 29 小笠支部発会式。 11. 10 紀元2,600年記念奉祝式典、各地で行う。 この年 内務省、新聞雑誌の整理統合、出版統制強化。 唄 曉に祈る 荒鷲の歌 紀元二千六百年 隣組 湖畔の宿等流行。
1941	昭和16	3. 1 国民学校令を公布 4. 1 小学校を国民学校と改称。教科、国民科・理数科・体操科・芸能科に統合。 4. 1 生活必需品統制令公布。 4. 13 日ソ中立条約、モスクワで調印。 8. 1 米国、対日石油禁輸。 10. 18 東条英機内閣成立。 12. 1 新聞統制、1県1紙となり県下6社統合し、静岡新聞社発足。 12. 8 太平洋戦争勃発、米英両国に宣戦の詔書。 この年 防空ずきん、もんぺ、ゲートルの非常時服姿急増。 唄 そうだその意気 めんこい小馬等流行。
1942	昭和17	1. 1 塩の配給制度を実施。 1. 2 閣議、毎月8日を大詔奉戴日とし、興亜奉公日廃止。 1. 8 大蔵省、大東亜戦争国庫債券を発行。 1. 9 学徒勤労動員開始。 1. 16 大日本翼賛壮年団結成。3. 16 静岡支部結成。 1. 一 県は二宮尊徳像その他銅像の回収を市町村長、学校長に通達。 2. 1 衣料に点数切符制実施（郡部1人年80点一背広50点、ワイシャツ12点、手拭3点等）味噌、醤油も。 2. 2 愛国・国防婦人会等を統合、大日本婦人会発会式。 4. 29 同県支部結成。 2. 21 食糧管理法公布。

西暦	年 号	事 項
1942	昭和17	4.30 第21回衆議院議員選挙（翼賛選挙）。 5.9 金属回収令により寺院の仏具、梵鐘等強制供出さる。 5.21 市町村会議員選挙。 6.5 ミッドウェー海戦で敗北。 7.1 小笠地方事務所設置される。 8.一 中学・高専・大学の在学学生を半年ないし1年短縮。 9.12 掛川区裁判所廃止。 12.16 掛川警察署庁舎改築落成。 この年 標語 欲しがりません勝つまでは。唄 月月火木金 空の神兵 勘太郎月夜唄 湯島の白梅等流行。
1943	昭和18	1.20 登呂遺跡発見される。 2.1 日本軍ガダルカナル島より撤退開始。 3.1 静岡三十五銀行・遠州銀行合併して静岡銀行を創設。 3.11 農業団体法公布（産業組合と農業会を全国的に統合） 同施行により小笠郡茶業組合解散。 4.1 南郷村、掛川町に合併。 7.21 国民徴用令改正公布（徴用の国家性を強調）。 8.25 国鉄、日本坂トンネル貫通。 9.8 イタリア、連合国に降伏。 11.1 兵役法改正公布（国民兵役を45歳まで延長）。 11.一 鈴木梅太郎理化学博士、文化勲章を受ける。 12.1 学徒出陣始まる。10.21 神宮外苑競技場で東京近在 77校学徒壮行大会を挙げる。 12.21 閣議、都市疎開実施計画により学童疎開開始。 12.24 徴兵適齢臨時特例公布（適齢を1年引き下げ19歳に）。 12.25 静岡県農業会発足（県下16か所に支所を設置）。 この年 野球用語等英語は日本語に改める。都市近県買い出しの一斉取締強化。・唄 加藤隼戦闘隊 お使いは自転車によって流行。
1944	昭和19	2.17 青年学校教員養成所廃止。4月青年師範学校設立。軍人・官吏等無試験で徴兵教員不足に対処。 2.25 文部省、食糧増産に学徒500万人を動員。3月3日国民学校空き地利用空地利用食糧増産へ。 3.7 学徒勤労動員を通年実施、工場へ配属を決定。 3.25 大和に大火。 5.一 静岡県製茶統制組合設立。

西暦	年 号	事 項
1944	昭和19	6.17 神代地に焼夷弾投下1戸焼失。 7.18 東条内閣総辞職 22日小磯内閣成立。 8.7 豊川海軍工廠空襲、学徒・挺身隊員等犠牲者多数。 8.23 学徒勤労令・女子挺身勤労令公布。 8.29 東京大田区久原・小池国民学校学童288名集団疎開 市内寺院受入。 10.18 陸軍省、兵役法施行規則改正公布（17歳以上を兵役に 編入）。 10.24 レイテ沖海戦、日本連合艦隊主力を失う。 11.1 県立掛川保健所、仁藤に開所。 11.5 静岡、浜松に初めてB29現れる。 12.7 東南海大地震発生、死者143人報道されず。 12.17 一木喜徳郎没す（78歳）。 この年 茶園果樹園等整理され、さつまいも等栽培。 ・戦況に関する流言急増。・唄 荒鷲の歌 予科練 同期の桜 ラバウル海軍航空隊の歌流行。
1945	昭和20	1.18 最高戦争指導会議、本土決戦即応態勢確立等決定。 2.19 米軍、硫黄島に上陸。3.17 守備隊全滅。3.9～10 B29東京大空襲。 3.18 閣議、決戦教育措置要綱を決定（国民学校初等科以外 授業を4月1日より1年間停止）。 3.26 学校校庭農藝化を県が通達。 4.1 米軍、沖縄本島に上陸（6.23 守備軍全滅。戦死者約 9万人、一般国民死者10万人）。 4.5 ソ連、日ソ中立条約不延長を通告。8月8日ソ連、対 日宣戦布告。 4.7 鈴木貫太郎内閣成立。 5.7 ドイツ軍、連合国への無条件降伏文書に署名。 5.19 東山口村本所、山鼻にB29爆弾投下、死者5名。その 他、幡鎌、栗ヶ岳へ。被弾地 5.14 原谷村、6.9 と18 掛川駅付近、高御所、城西。5.26 三浦環没す （62歳）。 5.一 県立掛川中学校、軍事工場中島飛行機（九八）が使用 6.8 天皇臨席の最高戦争指導者会議、本土決戦を採択。 6.18 浜松大空襲。6.20静岡大空襲。7.29浜松艦砲射撃。 6.23 国民義勇兵役法公布（男子15歳～60歳以下、及び女子

西暦	年 号	事 項
1945	昭和20	17歳～40歳以下を国民義勇戦隊に編成。
		7.17 ポツダム会談。26日 ポツダム宣言発表。
		7.24 二俣線細谷でグラマン機銃掃射、死傷者18名。
		8.6 広島に原子爆弾投下、死者20数万人。
		8.8 ソ連、対日宣戦布告。
		8.9 長崎に原子爆弾投下。
		8.15 大東亜戦争終結、14日ポツダム宣言受諾（無条件降伏）を決定。15日正午、戦争終結の詔書を放送。
		9.2 日本、降伏文書に調印（米艦ミズーリ号艦上にて）。
		9.20 文部省、教科書から戦時教材削除を通達（墨塗り教科書始まる。）。
		10.24 国際連合正式に成立。
		11.6 占領軍1個連隊、静岡市に進駐。
		11.6 GHQ財閥解体などの覚書。
		11.一 日本自由党、日本進歩党、日本社会党等結成。
		11.一 塩の不足により海岸地帯で自家製塩を始める。
		12.9 GHQ農地改革に関する覚書。
		12.17 衆議院議員選挙法改正公布（大選挙区連記制、婦人参政権等）。
		12.22 労働組合法公布（団結権、団体交渉権等—21年3月1日施行）。12.31 GHQ修身、歴史、地理授業停止。
		12.29 農地調整法改正公布（第1次農地改革）。
		この年 食糧危機深刻化。メチルアルコール飲用死亡者続出。
		唄 勝利の日まで お山の杉の子流行。
1946	昭和21	1.1 天皇、神格化否定の詔書（天皇人間宣言）。
		1.4 GHQ軍国主義者の公職追放指令。 1.一 パーマネント流行し始める。
		2.17 金融緊急措置令公布（預金封鎖、新円切換即日施行）。
		3.2 泉労働組合協議会結成。
		3.20 年度産米供出静岡県74%に達せず、配給事情悪化。
		4.10 新選挙法による第22回衆議院議員選挙（婦人参政権初履行）。
		5.3 極東国際軍事裁判開廷。
		6.17～18 天皇、静岡県内巡幸。
		6.一 静岡貿易茶再生会社設立、輸出再開。
		7.20 人は右、車は左の対面交通実施。

西暦	年 号	事 項
1946	昭和21	10.21 農地調整法改正、自作農創設特別措置法公布（第2次農地改革）。 11. 1 第1回国民体育大会、大阪・京都で開催。 11. 3 日本国憲法公布（主権在民・戦争放棄等—22年5月3日施行）。 11. 8 公職追放を財界、言論界、地方公職等に拡大。 12.27 閣議、石炭、鉄鋼を中心とする傾斜生産方式を開始。 この年 6大学、中等学校、プロ野球リーグ戦、競馬等各種競技会続々復活。 唄 啼くな小鳩よ 東京の花売り娘等流行。
1947	昭和22	1.31 マッカーサー、2.1ゼネスト中止命令、声明を発表。 3.31 第1回農地買収実施（全国11万8371町歩）。 3.31 教育基本法・学校教育法各公布。 4. 1 6・3制による新学制小中学校発足。 4. 1 町内会・部落会・隣組廃止。 4. 5 第1回知事・市町村長選挙。4.30 県会、町村会議員選挙（第1回統一地方選挙）。 4.17 地方自治法公布。5. 3 施行。 4.20 第1回参議院議員選挙。河井弥八当選。 4.25 第23回衆議院議員選挙。5.20 第1回特別国会召集。 5. 3 日本国憲法施行。 6月県教職員組合結成。8月県農民組合連合結成。 7. 1 公正取引委員会発足。7.20 独占禁止法施行。 8. 4 最高裁判所発足。 8. 9 古橋広之進水泳自由形で世界新記録。 10. 1 県下に初の婦人警察官30名誕生。 11.19 農業協同組合法、農業団体調整法各公布。 11.25 第1回共同募金はじまる。 12.17 警察法公布（国家地方警察・自治体警察・国家及び地方各公安委員会を設置）。 12.22 改正民法・改正戸籍法各公布（23年1月1日施行）。 12.23 消防組織法制定により警防団を消防団に改組し自治消防発足。 この年 市域の人口57,459人。浜松のオートバイ工業勃発。 鐵の鳴る丘 20の扉放送開始。唄 炭坑節 港が見える丘流行。

西暦	年 号	事 項
1948	昭和23	1. 7 財閥同族支配力排除法公布（財閥解体すすむ）。 3. 7 新警察制度発足、掛川町に自治警察署開設（25年10月廃止）。 4. 1 県下新制高等学校65校、私立高校29校開校。43公立高校に夜間定時制併設。 7. 15 教育委員会法公布、11. 1 静岡県教育委員会発足。 7. 27 静岡県農業協同組合設立。7. 29 民生委員会法公布。 9. 15 アイオン台風東海関東北陸上陸（稲白穂化し大被害—死者行方不明2,368人）。 11. 12 樺東軍事裁判所、戦犯25被告に有罪を判決。12. 24 G H Q、A級戦犯容疑者19人釈放。 12. 7 家庭裁判所を設立する旨公布。 12. 7 国家地方警察署小笠地区警察署設置。 この年 女性の超ロングスカート流行。魚群探知機の使用始まる。唄 異国の丘 湯の町エレジー 憧れのハワイ航路流行。
1949	昭和24	1. 23 第24回衆議院議員選挙。1. 15 第1回成人式。 3. 7 ドッジライン発表（経済安定9原則、政府支出は税収を限度とする）。 4. 12 東海道本線、沼津～浜松間電化。 4. 23 G H Q 1ドル360円の単一為替レート設定。 5. 24 年齢を満年齢と改める、25年1月1日施行。 6. 1 静岡大学開学。 7. 1 掛川電報電話局開局、掛川郵便局柴町に新築。 8. 26 シャップ税制改革勧告案発表（税制の根本的改変）。 11. 3 湯川秀樹ノーベル物理学賞受賞。 11. 一 桜木村、曾我村の境界を変更。 この年 唄 長崎の鐘 トンコ節 銀座カンカン娘等流行。
1950	昭和25	1. 7 千円札を発行。 3. 一 県立掛川保健所、城西地区に庁舎落成。 4. 1 衣料等物賃価格の統制を順次廃止。 4. 15 公職選挙法公布（各種選挙の統一）。 5. 26 国土総合開発法公布。 6. 4 第2回参議院議員選挙 河井弥八当選。 6. 25 朝鮮戦争始まる（特需景気起こる）。 8. 10 警察予備隊令公布、即日施行（8月23日第1次約7000

西暦	年 号	事 項
1950	昭和25	人入隊)。 9. 1 閣議、公務員レッドパージの基本方針正式決定。 10. 1 上内田村、掛川町と合併。10日記念式。 10. 1 国勢調査実施。市域の人口59,693人。 10.13 政府、GHQの承認を得て一部の公職追放解除。 12.13 地方公務員法公布(政治活動、争議行為等を禁止)。 この年 平均寿命男58.0歳、女61.4歳で初めて60歳を超える。 県下公民館134館、社会学級563、青年学級143誕生。 唄 水色のワルツ 越後獅子の唄等流行。
1951	昭和26	3.31 農業委員会法公布。 4. 1 米屋の民営が復活。 4. 1 西山口・栗本・西南郷の3村、掛川町と合併。 4. 一 県知事、県会議員選挙。 5. 1 9電力株式会社発足。県内富士川以西は中部電力。 5. 5 児童憲章制定宣言。 6.20 政府、第1次追放解除を発表。 9. 8 対日平和条約調印・日米安全保障条約調印(サンフランシスコ講和会議)。 この年 9. 1 民間放送始まる。・結核初めて死因の2位に下がる、1位脳溢血。・名古屋からパチンコ流行。東京で小型タクシー急増。薪炭利用代燃車本年限りで不許可。女剣劇に人気。流行語 社用族。唄 ぼくは特級の機関士で流行。
1952	昭和27	4.28 対日平和条約・日米安全保障条約発効 GHQ廃止。 7. 1 町立掛川図書館開館。7. 1住民登録全国一斉に実施 7. 4 破壊活動防止法案可決成立。 10. 1 第25回衆議院議員選挙 戸塚九一郎当選。 10.15 警察予備隊、保安隊に改組。 11. 1 市町村教育委員会発足。 11. 7 県内最初の民間放送、静岡放送ラジオ放送開始。 12.15 桜木第1簡易水道竣工。 この年 スクーター流行し始める。空飛ぶ円盤 人工降雨が話題に。唄 リンゴ追分 芸者ワルツ 上海帰りのワル等流行。
1953	昭和28	2. 1 NHKテレビ放送開始。8.28民間テレビ放送開始。 3. 5 第1回県PTA大会開催。県PTA連絡協議会結成。 3.23 中国からの引き揚げ開始。

西暦	年 号	事 項
1953	昭和28	4.19 第26回衆議院議員選挙。戸塚九一郎当選（6月建設大臣に就任）。 4.24 第3回参議院議員選挙。河井弥八当選（5月参議院議長に就任）。 7.27 朝鮮休戦協定調印。 8.7 町村合併促進法成立。9.1 公布。 9.20 町営火葬場、板沢地内に完成。 12.24 奄美群島、日本へ復帰 25日発効。 この年 田宮虎彦、掛川城を題材にした「鷲」を刊行。 蛍光燈家庭に普及し始める。店頭テレビ人気集める（14インチ17万円）。 死亡原因、1位脳溢血、2位癌、3位老衰、4位心臓疾患、5位結核。 唄 五木の子守歌 街のサンドイッチマン流行。
1954	昭和29	1.1 菊川町誕生（堀之内町・六郷・加茂・内田・横地各村合併）。 1.1 50銭以下の小銭廃止。 1.一 家光霊廟、県文化財に指定。 3.1 第五福竜丸ビキニ島で水爆被災。 3.31 東山口村・曾我村、掛川町と合併、掛川市誕生。 3.31 桜木村、和田岡村を廃し、北小笠村となる。 3.31 西郷村、倉真村を廃し、三笠村となる。 4.1 初代掛川市長に鈴木理一郎就任。 4.1 粟ヶ岳無線中継所開設。 4.1 掛川市社会教育委員会発足。 6.8 改正警察法公布。7.1 掛川自治警察署廃止、県警掛川警察署開設。 6.9 防衛庁設置法・自衛隊法各公布。7.1 施行。 8.31 市営住宅第1号、塩町に完成。 10.10 二俣線、西掛川駅開設。10.14山崎常磐没す（90歳）。 この年 市内を通過する国道1号線が完成。 特産小笠薬工品、紙袋・ビニール袋の進出で衰退。 電気洗濯機急速に普及。ヘップバーンスタイル流行。 唄 お富さん オーマイババ等流行。
1955	昭和30	2.27 第27回衆議院議員選挙。戸塚九一郎当選。 3.31 市立老人ホーム、桔梗寮水重地内に完成。 4.1 日坂村・東山村、掛川市に合併。

西暦	年 号	事 項
1955	昭和30	4.23 県会議員選挙。松井一郎当選。 4.30 初の掛川市会議員選挙施行。 4.一 日坂村大鹿地区の金谷町編入に関し紛争。32年8月金谷町に編入。5.20 掛川明治橋完成 5.24 高松宮、桔梗寮ご訪問。 9.21 掛川市戦没者忠魂碑、掛川公園内に完成。 10.1 国勢調査実施。市域の人口6万706人。 10.13 社会党統一大会。 11.1 かんからまち県無形文化財に指定。 11.15 自由・日本民主党合同、自由民主党結成。 12.24 市制後初の事務機構改革を実施。 この年 神武景気始まる〜32年上期迄。家庭電化時代始まる。 唄 しあわせの歌 りんどう峠の歌流行。
1956	昭和31	4.1 掛川市文化財審議会発足。3.25 石畑簡易水道完成 4.16 静岡茶市場開設。 7.17 経済白書「もはや戦後ではない」と報告。 9.30 原泉村、三笠村に合併（内炭焼地区、森町に編入）。 10.10 掛川市庁舎三の丸に完成。市章、桔梗紋に決まる。 10.15 佐久間ダム完成。 10.19 日ソ国交回復に関する共同宣言調印 12.12 発効。 11.19 東海道本線全線電化完成。 12.8 市制後初の市長選挙、鈴木理一郎当選。 12.18 国連総会、日本の国連加盟案を全会一致で可決。 この年 熊本県水俣湾で水俣病発生。 流行語 太陽族、一億総白痴化、ノイローゼ。 唄 若いお巡りさん 哀愁列車等流行。
1957	昭和32	3.25 欧州経済共同市場（EEC）発足。 3.31 北小笠・原谷・原田3村と三笠村一部、掛川市に合併 3.31 市立隔離病舎完成。1.一 南極昭和基地建設。 6.1 NHK静岡放送局テレビ放送開始。 8.27 原子の火、東海村にともる。 10.1 日本、国連安全保障理事会、非常任理事国に当選。 10.4 ソ連、人工衛星スプートニク1号打ち上げ。 10.26 第12回国体静岡県で挙行、掛川市でレスリング、軟式野球実施。 10.27 天皇皇后両陛下来掛、国体レスリング観戦。オレンジ

西暦	年 号	事 項
1957	昭和32	旋風おこる。 12. 1 電話、掛川～浜松間自動即時通話となる。 この年 なべ底不況 32年下期～33年下期まで。
1958	昭和33	唄 有楽町で逢いましょう 船方さん等流行。 1.31 米国人工衛星エクスプローラ打ち上げ成功。 5.22 第28回衆議院議員選挙。3.31 原川簡易水道完成。 7.22 11号台風、原川で突風20戸全半壊。 7.一 秋葉ダム竣工。 9.17 21号台風、市内堤防被害57か所。 9.26 22号(狩野川)台風、死者701人、行方不明339人。 10.一 県農業改良普及所20か所に設置。 11. 1 国鉄、東京・神戸間電車特級こだま号運転開始(東京・大阪間6時間50分)。 12.1 1万円札発行。
1959	昭和34	この年 岩戸景気おこる。33年下期～36年下期まで。 8ミリ映写機人気ブームに。フラフープ流行。 1.30 県知事、市長同時選挙、市長に榎村専一当選。 1.一 モートル法実施。 4.10 市立掛川病院、宮脇に竣工落成式挙行。 4.16 国民年金法公布。11.1施行。 4.22 県議会議員選挙。 4.30 市議会議員選挙。6.2 参議院議員選挙。 4.一 新市町村建設促進法による国の指定を受ける。 8.14 台風7号による集中豪雨で未曾有の大被害。全市2割浸水、県災害救助法発動される。 9.11 ドル為替自由化。 9.26 台風15号(伊勢湾台風)死者1,239人。行方不明1,173人。県下にも被害。 11.3 市有功章第1号、鈴木理一郎受賞。 11.一 掛川市、財政再建団体として国の指定を受ける。 この年 岩戸景気おこる。34年下期～36年下期まで。 カミナリ族横行。唄 南国土佐を後にして 黒い花びら等流行。
1960	昭和35	6.23 新安保条約批准書交換、発効。 安保反対デモ隊、国会を囲む。 6.一 掛川市県下初の農業飛行散布を行う。

西暦	年 号	事 項
1960	昭和35	7.21 河井弥八没す(83歳)。31日市民葬報徳社で執行。 8.12 上水道原谷水源地、配水池完成。 9.30 黒俣国有林50町歩払い下げ決まる。 10.1 三笠村、掛川市に合併する。 10.1 国勢調査実施、市域人口59,762人。 10.1 国民年金拠出制の加入受付開始。 10.一 掛川駅西北部の土地区画整理事業始まる。 11.10 掛川城御殿、県重要文化財に指定。 11.20 第29回衆議院議員選挙。 12.27 閣議、国民所得倍増計画を決定(高度成長政策)。 この年 電気冷蔵庫普及。流行語、三種の神器。 即席ラーメン・コーヒー等インスタント時代へ。 ダッコちゃんブーム。 二輪車生産台数世界第1位となる。 唄 潮来笠 誰よりも君を愛す等流行。
1961	昭和36	6.1 国道大池橋架換工事完成。 6.12 農業基本法公布(生産拡大向上改善合理化等)。 9.3 市長森村専一没す(69歳)。9日 報徳社で市葬。 9.8 全音楽器株式会社誘致決まる。 9.16 台風18号(第2室戸台風)市内被害続出。 10.3 原野谷中学校開校。 10.8 市長選挙、大石武雄当選。 10.15 ヨーロッパ遠征日紡貝塚女子チーム24戦無敗、東魔女誕生。 11.15 県立養鶏試験場、下垂木地内に完成。 この年 スキー、登山等レジャーブーム強まる。 唄 上を向いて歩こう、スーダラ節等流行。
1962	昭和37	4.1 市内12農協合併、掛川市農協誕生。 4.1 掛川市常設消防署、御殿を仮庁舎に発足。 4.5 県立職業訓練所、水垂地区に完成。 4.19 高御所和光橋完成。 4.21 市立病院第2病棟完成、掛川市立総合病院となる。 7.1 第6回参議院議員選挙。 12.一 掛川第1土地区画整理事業、第1期完成。 この年 8.30 YS11初飛行成功、60人乗り中型双発旅客機 大都市住宅難深刻化。唄 王将 可愛いベビー等。

西暦	年 号	事 項
1963	昭和38	1. 一 大井川右岸用水事業、市内工事始まる。 4. 1 県立中遠工業高校袋井で仮校舎開校。 4. 17 県議会議員選挙、松井一郎・大角想一当選。 4. 30 市議会議員選挙。 7. 26 経済協力開発機構（OECD）、日本の加盟を承認（39年4月28日加盟）。 8. 17 春林院古墳、発掘始まる。 10. 20 中央小学校新校舎落成。 10. 一上内田簡易水道完成。 11. 21 第30回衆議院議員選挙。 この年 県下に初めてスポーツ少年団でできる。プロパンガス利用家庭とタクシー急増。 県 こんには赤ちゃん等流行。
1964	昭和39	1. 31 日本楽器株式会社、掛川工場領家に誘致。40年6月28日完成。 第1小学校本館工事完成。 4. 1 市制10周年式典、掛川西高校体育館で挙行。 故河井弥八・戸塚九一郎名誉市民章受賞。 4. 1 掛川市金庫制度廃止。 8. 21 掛川西中学校、県中学校野球大会で優勝。 10. 1 国鉄、東海道新幹線開業（東京～新大阪間4時間、40年10月1日3時間10分に）。 10. 10 第18回オリンピック東京大会開催。参加94ヶ国、選手5,541人、日本16種目優勝。 この年 4月県公害課を新設。10. 2 県の島サンコウチョウ制定。県 東京五輪音頭 お座敷小唄等流行。 2. 7米軍、北ベトナム爆撃。ベトナム戦争開始。
1965	昭和40	3. 15 掛川市衛生センター、下俣に完成。 4. 18 掛川電話局自動化開始。 3. 31 初馬簡易水道完成。 7. 4 第7回参議院議員選挙。 5. 一 重木川改修工事完成 8. 26 県立中遠工業高等学校第2期工事葛川に完成。27日移転完了。 9. 11 全音楽器株式会社掛川工場、領家地内に完成。 9. 26 市長選挙、中山吉平当選。 10. 1 国勢調査実施。市域の人口58,876人。 10. 21 朝永振一郎、ノーベル物理学賞受賞。 11. 19 閣議、財政処理のため戦後初の赤字国債発行を決定（41年1月29日発行）。

西暦	年 号	事 項
1965	昭和40	この年 大学（4年制・短期）学生数、百万人突破（私大72%）。モンキーダンス流行。唄 柔 愛して愛して愛しちゃったのよ流行。
1966	昭和41	1.28 原野谷川防災ダム建設着工。45年5月26日完成。 1.一 国営事業で小笠山開発決定。 2.21 電話ダイヤル市外通話開始。 4.17 国道中山新トンネル開通。 7.23 掛川市総合開発調査で調査委員会発足。 9.25 台風26号、中部・関東大被害 死者・行方不明314人。 9.30 東名高速道路、市内部分着工。 10.22 県営住宅団地、中宿地内に誘致決まる（城北地区）。 12.9 「建国記念の日」を2月11日と定む。 この年 いざなぎ景気（40年下期～45年下期）。 交通事故による死者1万3,904人。交通戦争の用語生まれる。 ひのえうき年で出生数、前年比25%減少。原宿族話題。唄 バラが咲いたの流行。漫画 おぼけのQ太郎。
1967	昭和42	1.29 第31回衆議院議員選挙、県知事選挙実施。 県議会議員選挙 田中国次当選。 3.31 原泉小明ヶ島分校、原田小学校に統合し廃校。 4.1 掛川市歌、市民行進歌制定。市事務機構三部制採用。 4.28 市議会議員選挙。 7.10 上水道、池下浄水場の一部操業開始。 8.3 公害対策基本法公布。 10.31 日本精工株式会社、初馬に誘致決定。 11.14 袴田銀蔵没す（91歳）。 12.1 掛川市交通傷害保険制度発足。 12.4 上内田農村集団自動電話開通。 この年 農業就業人口19.3%となり2割を切る。 ミニスカート流行。唄 世界は二人のために。 祝日「敬老の日」「体育の日」「建国記念の日」新設。
1968	昭和43	4.1 東山小学校を廃し、日坂小学校に統合。 市立掛川病院にX線装置完成。 4.1 西ノ谷分校を廃し、原田小学校に統合。 掛川消防署に救急車を配置。 4.1 農業会館を買収、教育委員会・福祉事務所を移転・体

西暦	年 号	事 項
1968	昭和43	育館完成、文化センターと総称する。 6. 一 小笠原諸島日本復帰。・用途地域の指定を行う。 7. 1 郵便番号制度実施、掛川干436。 7. 7 第8回参議院議員選挙。 8. 6 静岡県章制定。8.26 県旗制定。 11. 一 川端康成、ノーベル文学賞受賞。 12. 1 「掛川市誌」発刊。12. 一 小笠原農学校横地へ移転。 12.27 第1回静岡県青年の船出港。 12. 一 公害基本法、大気汚染防止法、騒音防止法実施。 この年 国民総生産（GNP）米国に次ぎ第2位となる。 カセット式テープレコーダー普及、ラジカセ商品化。 唄 星影のワルツ流行。
1969	昭和44	5.26 東名高速道路、全線開通。 5.30 新全国総合開発計画を決定。 6. 9 伊東でASPAC閣僚会議、反対派集会、デモ。 7.20 米国宇宙船アポロ11号、月面着陸に成功。 9.17 掛川市、東遠地区広域市町村圏に指定される（10.28両協議会発足）。 9.27 市長選挙、榊原虎之助当選。 9.29 農政審議会、農政推進上の基本事項を答申（米の需給調整・食糧の安定供給・離農促進等）。 10.13 県警掛川警察署、新庁舎仁藤国道北側に移転。 12.27 第32回衆議院議員選挙（テレビ政見放送、全県即日開票に）。 この年 水稲作付面積317万ha史上最高に、古古米130トン（45年414万トンに）。唄 港町ブルース 長崎ブルース等流行。国鉄、累積赤字4137億円、破産寸前と監査報告。2ドア冷凍冷蔵庫登場、冷凍食品時代へ。・自主流通米制度導入。
1970	昭和45	2.20 閣議、総合農政の基本方針（農業構造改善・兼業農家の協業化・米減産）を了承。 3.14 日本万国博覧会、EXPO'70大阪で開催。仁藤大獅子参加。 3. 一 地震予知連絡会、東海地方7か所を大地震発生注意地区に指定。 4.18 米生産調整対策実施要綱を通過。

西暦	年 号	事 項
1970	昭和45	4.18 県立中央図書館開館。 5.26 原野谷防災ダム完成。 10.1 第11回国勢調査実施、市域の人口5万9,153人。 西山口幼稚園完成。 11.7 公害対策静岡県連絡会議結成(11.24 第64臨時国会、公害国会ともいう)。 12.一 掛川清掃工場(ゴミ焼却場)千羽地内に完成(操業46年1月5日)。 この年 掛川郵便局、栄町から中央町へ移転。新道 国鉄地下道完成開通。掛川市初の消費生活展開催。光化学スモッグ。ヘドロ公害、カドミウム汚染の公害多様化。東海道自然歩道着工。唄 圭子の夢は夜ひらく等。
1971	昭和46	1.一 金谷バイパス開通。 4.1 国鉄二俣線、ディーゼル機関車に移行。 4.1 掛川市に交通公害課を新設。 4.11 県議会議員選挙 戸塚進也当選。 4.25 市議会議員選挙。 6.17 沖縄返還協定調印。 6.21 農村地域工業導入促進法公布。 6.27 第9回参議院議員選挙。 8.28 変動為替相場制採用。7.1 環境庁新設発足。 9.13 国道1号線掛川バイパス、路線決定。 11.3 上張地内に緑ヶ丘1・2丁目誕生。 11.一 竹山県知事、小笠山に貨物空港構想を表明。 この年 NHK総合テレビ全カラー化(テレビ普及率82%、カラー40%)。住宅ローン本格化する。ボーリング人口1,000万人。茶に防霜ファン導入始まる。 Tシャツ・ジーンズ大流行。唄 わたしの城下町 知床旅情流行。
1972	昭和47	2.3 第11回冬季オリンピック札幌大会開催。 3.一 原谷市営住宅完成。 4.1 常葉学園菊川高校、短期大学開校。 6.11 「日本列島改造論」田中角栄通産相発表。 6.23 老人福祉法改正公布(70歳以上の医療無料化、48年1月1日施行)。 7.2 東遠地区センター完成、市立図書館入館。

西暦	年 号	事 項
1972	昭和47	8月市域人口6万人越す。 9.29 日中共同声明に調印、日中国交回復。 この年 大井川右岸用水工事終了田畑潤う。吉岡バラ団地造成。土地ブーム（長者番付百人中95人土地成金）。第2次ベビーブーム。パンダブーム。唄 瀬戸の花嫁流行。
1973	昭和48	1.27 ベトナム和平協定調印。29日、米大統領戦争終結を宣言。 2.7 掛川市消防署庁舎国道筋に落成、消防救急指令装置も完成。 2.14 大蔵省、外国為替変動相場へ移行。 4.1 市に都市改造課を新設。 5.2 下俣地区土地区画整理で清崎誕生 6.1 自動車新車、車庫証明必要に。 6.7 泉簡易水道完成。9.14 石畑簡易水道長間工区完成。 10.8 市長選挙、榊葉虎之助再選。 10.25 第一次石油危機（オイルショック）で洗剤、チリ紙等不足、買いだめ。 10.1 軽自動車車検実施。 10.29 戸塚九一郎没す。 12.19 新青田トンネル開通式 総工費2億7,000万円。 この年 掛川市第1回農業祭実施。エアコン普及し始める。ゴルフブームに。電動式パチンコ認可。書籍 日本沈没。唄 神田川。
1974	昭和49	4.1 市制20周年記念、市の木モクセイ、市の花ききょうを制定。 4.1 栗本小学校廃し学区再編、城北小学校誕生。 鈴木理一郎名誉市民となる。 7.7 参議院議員選挙、戸塚進也当選。 6.7 浜松医科大学開校。 8.13 中電浜岡原子力発電所試運転開始（営業運転51年3月17日）。 この年 石畑簡易水道倉真工区完成。3.4 高校野球連盟、公式試合で金属バット使用許可。自然健康食品ブームに。高校進学率90.8%に。唄 新曲「掛川の夜」発表。くちなしの花 なみだの操等流行。
1975	昭和50	2.1 農業センサス実施、農家人口、全人口の20.7%。 2月A香港型集団かぜ流行。

西暦	年 号	事 項
1975	昭和50	3.10 新幹線東京～博多間全通。 4.1 三笠中学校を廃し学区再編、北中学校誕生。 4.5 土地区画整理事業で金城、4.23小鷹、中央三丁目 8.20 天王町、弥生町、柳町、北門、中宿誕生。 4.13 県議会議員選挙 戸塚宏当選。 4.27 市議会議員選挙。 7.26 総合福祉センター、つつじが丘愛育園完成。 大石武雄没す。 10.1 国勢調査実施、市の人口6万1,731人。 集中豪雨、床上浸水154、床下1,163戸。 11.2 掛川城二の丸御殿保存修理完成、一般公開。 11.15 第1回主要先進国首脳会議フランスで開催。 この年 乗用車対米輸出80万台、米国輸入台数の50%を超す、 大学進学率34.2%、200万人越す。学習塾通い小学生 62%、中学生45.6%。話題おちこぼれ。県 昭和枯れ すすき。
1976	昭和51	3.26 総合グラウンドいこいの広場開場。 2.6 ロッキード事件追究を開始。 8.23 東大石橋助手、駿河湾巨大地震説を発表。 52年8月1日地震対策課を設置。 12.5 第34回衆議院議員選挙。 12.10 ソ連、漁業専管水域200カイリを設定。 この年 戦後生まれ、総人口の半数を突破。中流意識90%に。 和・洋トイレの需要並ぶ。ジョギングブーム。県 お よげたいやきくん 岸壁の母 北の宿から等流行。
1977	昭和52	1.17 東洋一の規模を誇る五明製茶場完成。 3.17 対モンゴル無償経済援助調印、日本戦後賠償終了。 3.29 中遠工高全国バレーボール大会出場。 7.10 第11回参議院議員選挙。 7.31 掛川西高第59回野球静岡県大会で優勝、甲子園出場。 市教育センター、旧三笠中学校跡地に開設。 8.5 榛葉虎之助市長急逝。 9.18 市長選挙、榛村純一当選（11月新幹線掛川駅構想を発 表、設置運動開始）。 11.19 農林省、水田転作促進長期方針を決定。 この年 円高不況、県内企業倒産613件。平均寿命男72.69歳

西暦	年 号	事 項
1978	昭和53	女77.95歳で世界第1位へ。 カラオケブーム始まる。ピンクレディー人気 唄 津軽海峡冬景色等流行。 4. 6 国土庁、全国定住圏モデル地域に指定（東遠地区掛川 市他7町）。 4. 8 掛川市第1回茶まつり実施。 西之谷飲料水供給施設完成。 4.26 生涯学習始動「掛川学事初めの集い」開催。 5.20 掛川商工会館緑町に落成。 5.20 新東京国際空港開港（6千億円）。 5.26 東遠地区聖苑火葬場落成（6月1日業務開始）。 8.12 日中平和友好条約調印。 この年 話題 円高問題 窓際族 ディスコ ルームエアコ ン・健康機器ブーム。
1979	昭和54	唄 UFO サウスボー等流行。 3. 1 掛川営林署閉署、浜松営林署に統合。 栄川中学校新校舎完成。 4. 1 市制25周年記念式典で全国初の「生涯学習都市宣言」 を行う。 4.18 茶の大被害発生、損失14億円。 5. 3 掛川市国際都市友好協会設立総会施行。 5.22 掛川市移動図書館「おおぞら号」運行開始。 5.29 東遠地区が「新広域市町村圏」に指定される。 6.28 先進国首脳会議、東京で開催。 7.24 掛川市第1回市民総代会開催。 7. 5 萩間簡易水道完成。 7.11 東名日本坂トンネルで重大事故発生。 8. 3 掛川市、ユージン市と姉妹都市提携調印。 9.24 台風24号、集中豪雨で372戸浸水。 10. 7 第35回衆議院議員選挙。 11.16 掛川城御殿、国の重要文化財に指定される。 11.28 徳川霊廟解体修理開始。 12.22 第1回生涯学習市民交通安全パレード実施。 この年 溜池改良整備、22か池一斉着手。市機構7部21課64係 に統合。話題 地方の時代 ウサギ小屋 熟年 ギャ ル。漫画 ドラえもん。唄 北国の春 夢追い酒 お

西暦	年 号	事 項
1980	昭和55	もいで酒等流行。 1.29 西郷小。3.15 和田岡小新校舎完成。 4.1 生涯学習10年運動、18項目テーマで出発。 4.1 県婦人対策室設置。 4.17 二の丸跡忠魂碑、富士見台霊園に移転。 5.17 掛川東高校図書館一般公開。 6.6 同時通報無線が開局。5.23 大手番所復元落成。 6.22 初の衆議院・参議院議員ダブル選挙、戸塚進也当選。 7.4 桜ヶ丘中学校新校舎完成。 7.29 老人ホーム「ききょう荘」改称完成。 8.20 垂木の杉等20点、市の文化財に指定。 9.1 県下一斉地震防災訓練実施。 9.30 桜木小学校新校舎完成。 10.1 第13回国勢調査実施、市の人口6万4,843人。 10.17 西行歌碑、小夜中山に完成。 11.9 「年輪の集い」開始、60歳耳順式より。 11.13 国鉄総裁に「新幹線掛川駅設置要望書」提出。 11.29 掛川茶2度目の大臣賞受賞。 12.7 鈴木理一郎初代市長市民葬。 この年 自動車生産台数1,104万台、世界1位。 話題 校内・家庭内暴力 トルコ風呂 省エネ。 流行語 カラスの勝手 それなりに。
		2.6 掛川市、県下初の第1回婦人議会開催。 3.27 倉真・上内田幼稚園新園舎完成。 3.24 国道1号線掛川バイパス開通。 4.28 二俣線存続沿線市町村対策協議会発足。 5.24 ママさんソフトボール「掛川コスモス」県大会初優勝 6.4 小笠山縦貫道路開通。 6.26 原田小・桜ヶ丘中、7.25 倉真小学校新校舎完成。 7.26 青少年育成市民の会設立。 9.13 市長選挙、横村純一再選。 9.18 B&G海洋センター完成。 12.6 父親ソフトボール「西山ロチーム」初の県優勝。 12.13 第1回生涯学習推進市民大会開催。 12.14 水道事業所、逆川浄水場に移転。 この年 癌が死因の第1位となり脳卒中を抜く。

西暦	年 号	事 項
1982	昭和57	宅配便1億個で郵便小包取扱を越す。 唄 ギンギラギンにさりげなく等流行。 3. 7 小学校初の体育館完成（日坂小以下略）。 3. 27 曾我幼稚園新園舎完成。 5. 1 居尻キャンプ場整備竣工。 6. 6 市内初の児童遊園地「こどもの森」開園。 6. 23 東北新幹線開業。6. 27 県知事選挙。 8. 17 老人保健法公布（70歳以上の医療無料制廃止、外来月400円、入院1日300円等）。 9. 2 国鉄、リアモータ・カー世界初有人浮上走行。 9. 12 台風18号の直撃で23年ぶり災害救助法が適用 被害総額115億円、逆川激特事業始まる。 10. 2 市内初の精薄者施設「つつじが丘授産所」開所。 10. 5 掛川駅前22メートル道路整備 電柱一掃。 11. 15 上越新幹線開業。 11. 22 国鉄二俣線、赤字ローカル線第2次廃止路線に決定。 この年 話題、ゲートボール 酎ハイ エアロビクスダンス。 唄 北酒場等流行。
1983	昭和58	1. 15 消防署に初の水槽車を配属。 1. 19 第三セクター東遠青果流通センター掛川に設立。 3. 1 西郷幼稚園新園舎完成。 3. 13 掛川東高等学校定時制課程が閉校。 3. 14 臨時行政調査会第5次最終答申提出（増税なき財政再建・国債依存脱却）。 3. 24 掛川工業団地組合創立総会開催。 4. 24 市議会議員選挙。 6. 10 時の記念日掛川城御殿太鼓打ち鳴らし復活。 6. 26 第13回参議院議員選挙、全国区は初の比例代表制。 7. 8 掛川市生涯学習センター完成、工費23億5千万円。 9. 10 上張・城西線、立体交差完成。 10. 11 市暴力追放推進協議会発足。 11. 18 掛川市、「潤いのあるまちづくり」で自治大臣表彰を受ける（混植並木22メートル道路）。 11. 22 「つま恋」ガス爆発事故（死者14人、重軽傷者27人）。 12. 18 第37回衆議院議員選挙、戸塚進也当選。 この年 話題、流行 おしんブーム。働く主婦、初めて専業主

西暦	年 号	事 項
1984	昭和59	婦を上回る。パソコン・ワープロ急速に普及。VTR、テレホンカード普及。唄 矢切りの渡し さざんかの宿 釜山港へ帰れ等流行。 1.23 日本初の実用放送衛星ゆり2号打ち上げ。 3.1 栗本幼稚園新園舎完成。 3.23 駅北土地区画整理事業決定。3.21 県文化財団発足 3.24 新市立総合病院杉谷に完成、工費72億円。 3.27 新清掃センター千羽に完成、工費14億5,000万円。 3.31 県立高等職業訓練校掛川分校閉校。9.1 跡地に教育委員会移転。 4.1 市制30周年記念式典挙行。生涯学習事業団設立。 4.1 県史編纂事業開始。 11.1 新幹線掛川駅建設本部、対策室を設置。 12.18 「掛川市史」中巻発刊。
1985	昭和60	3.1 青葉台住居表示実施。 3.27 原田幼稚園新園舎完成。 4.1 市内法務関係3庁、駅南新庁舎に移転。 4.22 特別養護老人ホーム「かけがわ苑」完成。 5.9 総合地域振興協議会発足。 7.23 新幹線掛川駅起工式挙行。 8.2 旭ヶ丘1・2丁目、東中北側に誕生。 8.一 市内各中学校区に青少年健全育成会結成。地域ぐるみの活動開始。 9.15 市長選挙、榎村純一三選。 9.22 掛川おもちゃ図書館開館。 9.28第1回掛川ワールドバザール開催、入場8万人。 10.1 国勢調査実施、市の人口6万8,724人。 2.6 小笠教育会館完成、工費2億3,000万円。 2.27 市立つくし会館完成。 3.31 杉谷成滝線オーバーブリッジ完成。 5.4 第12回先進国首脳会議、東京で開催。 6.22 県知事選挙。 7.6 衆議院・参議院議員同日選挙。衆議院戸塚進也当選。 8.13 第三セクター天電浜名湖鉄道株式会社創立。開業62年3月15日。 9.23 第1回市民1人1スポーツフェスティバル開催。
1986	昭和61	

西暦	年 号	事 項
1986	昭和61	この年 逆川激特事業終了、松尾・緑・奥姫・馬喰橋等完成。
1987	昭和62	1.10 生涯教育シンポジウム開催。 1.30 掛川市の人口7万人を突破。 2.26 東中・第一・中央小新校舎落成。 4.1 国鉄分割、民営化。JRグループ11法人と国鉄清算事業団発足。 4.1 新土地利用計画策定。 4.12 県会議員選挙、戸塚宏四選。 4.26 市会議員選挙。 6.28 エコポリス（東部工業団地）土地区画整理組合設立。63年2月5日起工式挙行。 7.2 社団法人シルバー人材センター発足。 8.7 臨時教育審議会第4次（最終）答申を提出。 11.6 初の市アメリカ農業視察団出発。 10.19ニューヨーク株式市場で株価大暴落、日本連動。 12.16 静岡空港を榛原（島田）と決定。
1988	昭和63	3.1 掛川小笠地内の電話局番0537、市内局番2桁に。 3.13 新幹線掛川駅開業。市民募金25億円、開業イベント。 3.13 天竜浜名湖線に「いこいの広場」「原田」両駅開業。 3.31 掛川バスサービス株式会社開業（旧大井川鉄道バス路線）。 4.24 第1回小笠掛川マラソン開催。3,900余名参加。 7.16 第三セクター「これっしか旭」新幹線掛川駅に開業。 8.1 杉谷・葛川（鉄道南側）地区区画整理事業完了（新町名、青葉台・葵町・杉谷1・2丁目）。 8.31 第三セクター小笠山麓開発株式会社発足（東名掛川インター設置に向けて）。 9.17 ソウル五輪が開幕。 11.17 掛川城天守閣復元調査委員会発足。
1989	昭和64	1.7 昭和天皇没す（87歳）皇太子明仁皇位継承。1.8 元号平成に決定。
	平成元	2.13 掛川市老人緊急通報システム導入開始。 2.28 「ふるさと創生」事業内容決定。 4.1 市制25周年記念。市財務会計処理電算機オンライン化 4.1 消費税導入3パーセント。 6.22 第3セクター純オレゴン生涯学習村設立。 9.10 市長選挙、榛村純一四選。

西暦	年 号	事 項
1989	平成元	9.27 平和親世音像、富士見雲園に遷座。 この年 NHK衛星第1・2テレビ1日24時間本放送開始。 ベルリンの壁事実上崩壊。1.8 各和岡山功方で四つ子誕生話題に。流行語 セクハラ オバタリアン。 唄 川の流れるように流行。
1990	平成2	1.16 エコポリス誘致11社すべて決定。 1.19 国税局最高路線価発表、掛川駅前上昇率50.2%で県下5位。 2.18 衆議院議員選挙戸塚進也当選。 3.1 市議会特別委員会 新市庁舎建設候補地長谷に決定。 3.30 掛川消防署西分署落成。 4.1 掛川市「地球・美感・徳育都市」宣言。 5.25 駅前土地区画整理事業完了92億円。 6.1 居民・倉真・桜木線、掛川バスサービス線に。 8.6 第2東名ルート発表、掛川・森境界にインター設置。 8.30 掛川城天守閣復元工事着工。 10.1 国勢調査実施、市の人口 7万2,795人。 11.23 富士東製茶農協、農林水産祭で内閣総理大臣賞受賞。 この年 ドイツ国家統一を回復。流行語 バブル崩壊 成田離婚。 唄 おどるボンボコリン等流行。
1991	平成3	2.27 市内唯一の映画館「掛川座」閉館。 3.18 市議会、「掛川市生涯学習まちづくり土地条例」可決 6.1 施行。 4.1 市「土地対策室」新設、助役2人制に。 4.7 県会議員選挙 草賀文雄初当選。 4.21 市議会議員選挙、女性議員初めて2人に。 5.13 市高齢者介護ホーム「三笠の園」開園。 5.30 駅南学習センター「美感ホール」落成。 6.12 安養寺公園開園。 8.3 高校総体男子ソフトボール大会、いこいの広場で開催 8.30 国際茶振興シンポジウム掛川で開催。 この年 流行語 火砕流 若・貴 PKO。
1992	平成4	2.7 小笠山に「大規模スポーツ公園」建設計画決まる。 3.23 第3次市総合計画策定。 4.8 市森林果樹公園開園。

西暦	年 号	事 項
1992	平成 4	5.15 掛川城天守閣古式で上様式。 6.1 馬喰橋西に東海道一里塚完成。 6.21 長谷土地区画整理組合設立（新行政ゾーン建設へ）。 7.26 参議院議員選挙初の即日開票。 10.16 徳育保健センター・掛川医療センター・三師会館落成 この年 話題 3.14 新幹線のぞみ登場。7.27 パルセロ ナ五輪で岩崎恭子平泳金メダル。
1993	平成 5	2.19 「世界地方都市十字路口会議」掛川で開催 3.23 「ふる里レールフェスタ」開催。 5.30 東名インター周辺土地区画整理組合設立。 6.5 市役所窓口土曜完全閉庁に。 6.9 皇太子結婚の儀行われる。 7.2 滝ノ谷地区等3地区土地条例協定区域に指定。 7.14 オレゴン森林別荘「スズロ・コロマロッジ」市に寄贈 7.18 衆議院議員選挙。 8.1 県知事選挙。 9.12 市長選挙、榛村純一五選。 9.16 市立総合病院「健康安心サロン」落成。 11.10 緑茶人間科学研究所創立。 11.12環境基本法成立。 12.21 東名掛川インターチェンジ共用開始。 この年 長期不況で雇用情勢悪化。9.30 米凶作緊急輸入混 乱。12.1 世界遺産条約委員会、屋久島・法隆寺・ 姫路城等世界遺産に。流行語 Jリーグ サポーター 規制緩和。
1994	平成 6	3.29 大手門駐車場・観光物産センター「こだわりっば」落 成式。 4.1 市制40周年記念式典挙行。 4.2 掛川城天守閣竣工式。3日 開門まつり。 4.8 板沢に身体障害者更生施設「あいあい学園」開園。 4.19 長谷に新衛生センター「生物循環ペビリオン」完成。 7.9 一豊&千代サミット開催。 7.11 新庁舎建設工事起工式。 9.4 関西国際空港開港。 10.3 遠佐南地区再開発協議会設立総会。 10.25 新農政ビジョン策定完了。 11.1 病院院外処方せん発行開始。 12.15 市道板沢病院線開通。

西暦	年 号	事 項
1994	平成 6	この年 各地で水不足、節水で市内小中学校・市営プール使用中止。話題 松本市サリン事件発生。「悪魔ちゃん」命名問題。流行語 価格破壊 イチロー 就職氷河期
1995	平成 7	3.28 伊達方一里塚竣工。 3.31 掛川市生涯学習事業団、財団法人に。 3.31 県議会議員選挙、草賀文雄再選。 4. 8 単位制成人学習講座「とはなにか学舎」開講。 4.10 第3セクター「森の都ならここ」創立総会開催。 4.23 市議会議員選挙、(新人11人、女性3人)。 5.19 「和田岡古墳群」国の史跡指定を受ける。 6.19 掛川城大手門開門式・番所竣工式。 7.23 参議院議員選挙。 9.26 「戦争と平和の百年生涯学習」市議会決議。 10.16 県総合教育センター開所式(富部)。 10.20 掛川で46市町村「塩の道」会議。 10.26 市粗大ゴミの回収開始。 この年 1.17 阪神・淡路大震災発生。3.20 オウム真理教事件発生。
1996	平成 8	1.22 水垂・旭町の一部住居表示、御所原・旭台となる。 3.18 天竜浜名湖線、「掛川市役所前駅」オープン。 4.14 林道萩間・黒俣線改良工事完成。 4.17 天竜厚生会養護老人ホーム「さやの家」開所。 5.14 掛川市役所新庁舎落成。27日業務開始。 10.20 衆議院議員選挙。 この年 住専問題国税使用で問題に。

掛川市史年表

平成9年8月15日印刷

平成9年8月25日発行

編 集 掛 川 市 史 編 纂 委 員 会

発 行 掛 川 市

静岡県掛川市長谷701-1

電話 0537-21-1111 (代)

印 刷 株式会社 きょうせい

